

平成20年5月26日

## 魅力ある九州の物語百選と提言がまとまりました！

～九州の物語を活用した観光交流促進に向けて～

小説、詩歌、映画、テレビドラマ、歴史・伝記、神話・民話、歌謡・民謡などといった物語を構成するものは、地域やその魅力の情報発信のツールとして、また、旅のテーマ性を提供し、動機付けを助長する要素としても大きな存在となりつつあります。

特に最近においては、文学巡りの旅等テーマ性をもった旅が注目され、また、街づくりにおいても、その地域の物語が持つテーマ性を活かすべく景観、町並み、施設整備等との連携を図る試みがなされています。これらの物語の持つテーマ性により地域の観光資源等がつながれ、より魅力が増したものとなるとともに、新たな観光資源の発掘にも寄与しています。

こうした状況を踏まえ、九州運輸局では、九州の地が有し、人々が育んできた多くの物語を活かして、九州の魅力の情報発信するとともに、九州の地を訪れる新たな旅の提案や誘客の方策、観光客の受け入れのための連携や地域づくり等を進めるべく、平成19年7月に「観光交流促進における九州の物語の活用に関する検討委員会」（略称：「九州物語委員会」）を設置し、これまでに3回の委員会を開催し、検討を重ねて参りました。

このたび、九州物語委員会では、「魅力ある九州の物語百選」を選定するとともに、提言「九州の物語を活用した観光交流促進に向けて」を取りまとめましたので、お知らせいたします。

（添付資料）

- 【別紙1】 「魅力ある九州の物語百選」リスト
- 【別紙2】 「魅力ある九州の物語百選」
- 【別紙3】 提言の骨子
- 【別紙4】 提言「九州の物語を活用した観光交流促進に向けて」
- 【参考1】 アンケート調査結果
- 【参考2】 九州物語委員会について

< 問い合わせ先 >

九州運輸局企画観光部観光地域振興課  
担当：押井・江藤・井野  
電話：092-472-2920

## 「魅力ある九州の物語百選」リスト

&lt; 小説・映画・ドラマ・アニメの作品を中心として &gt;

(1) 文学・作家の旅		(3) 九州の島の物語		(5) 九州での青春・ノスタルジー	
1	森鷗外	13	もののけ姫	24	「青春の門」筑豊篇
2	松本清張	14	俊寛	25	次郎物語
3	北原白秋	15	Dr. コトー診療所	26	69
4	小泉八雲	16	奈緒子	27	佐賀のがばいばあちゃん
5	夏目漱石	17	浮雲	28	母に捧げるバラード
(2) 九州の旅・街道の物語		(4) 九州の街の物語		29	東京タワー オカンとボクと、時々、オトン
6	街道をゆく	18	無法松の一生	30	精霊流し
7	五足の靴	19	花と龍	(6) ロマンティック LOVE STORY IN 九州	
8	肥前の菓子 ～シュガーロード長崎街道に行く～	20	長崎ぶらぶら節	31	黄泉がえり
9	山頭火日記 『行乞記』	21	博多っ子純情	32	のだめカンタービレ
10	男はつらいよ	22	風のハルカ	33	リツ子その愛
11	釣りバカ日誌	23	なごり雪	(7) その事件は九州で起きた	
12	美味しんぼ			34	復讐するは我にあり
				35	LIMIT OF LOVE 海猿
				36	007は二度死ぬ

&lt; 歴史・伝記を中心として(作品を含む) &gt;

(1) アジアとの交流		(3) 記紀・神話・いにしえの世界		(6) 近代化・産業化	
37	後漢書東夷伝・魏志倭人伝	57	天孫降臨神話	81	集成館事業
38	徐福渡来	58	天の岩戸神話	82	福沢諭吉
39	百済王伝説	59	神功皇后	83	大隈重信
40	鴻臚館	60	吉野ヶ里遺跡	84	八幡製鐵所と長崎造船所
41	元寇	61	邪馬台国伝説	85	九州の炭坑王
42	天翔ける倭寇	62	松浦佐用姫伝説	86	柳原白蓮
43	名護屋城(朝鮮出兵)	63	大宰府	(7) 戦争と昭和の時代	
44	陶工来航	64	平家落人伝説	87	ホタル
45	朝鮮通信使	65	かっぱ伝説	88	男たちの大和 / YAMATO
46	孫文	(4) 武士の時代		89	長崎の鐘
(2) 西洋との交流・キリシタンの 物語		66	黒田如水	90	岩切章太郎
47	鉄砲伝来	67	加藤清正	91	まぼろしの邪馬台国
48	フランシスコ・ザビエル	68	島津義弘	(8) 芸術	
49	大友宗麟	69	武王の門	92	有田の三右衛門
50	天正少年遣欧使節	70	宮本武蔵	93	辰野金吾博士
51	キリシタン弾圧	71	葉隠	94	青木繁と坂本繁二郎
52	天草・島原の乱	72	広瀬淡窓	95	田中一村
53	出島(長崎奉行)	73	恩讐の彼方に	96	滝廉太郎
54	隠れキリシタン	74	肥後の石工	97	古賀政男
55	薩摩藩英国留学生	(5) 幕末・明治維新		98	昭和ライブハウス列伝
56	キリスト教復教	75	島津斉彬	99	九州の歌
		76	龜山社中	100	九州の詩歌
		77	翔ぶが如く		
		78	天璋院篤姫		
		79	江藤新平		
		80	西南戦争		

# 魅力ある九州の物語百選

観光交流促進における九州の物語の活用に関する検討委員会

(略称：九州物語委員会)



## 小説・映画・ドラマ・アニメの作品を中心として

### (1) 文学・作家の旅

#### 1) 森鷗外

(文学者)

##### 物語の概要

- 1862(文久2)年～1922(大正11)年没。
- 本名、林太郎(りんたろう)。石見国津和野(現・島根県津和野町)出身。東京帝国大学医学部卒。
- 明治・大正期の小説家、評論家、翻訳家、医学者、軍医、官僚。夏目漱石と並ぶ文豪と称されている。
- 1899(明治32)年から1903(明治36)年まで、小倉12師団軍医部長として勤務。地域の人々との交流が『小倉日記』として残されている。

##### 関連する物語

「小倉日記」  
小説「阿部一族」  
小説「二人の友」  
小説「或る『小倉日記』伝」

##### 観光情報

森鷗外京町住居跡	鷗外橋
森鷗外旧居	北九州市立文学館
鷗外の文学碑	北九州市観光案内ボランティア

#### 2) 松本清張

(作家)

##### 物語の概要

- 1909(明治42)年12月21日～1994(平成6)年8月4日没。
- 本名、清張(きよはる)。福岡県企救郡板櫃村(現・北九州市小倉北区)出身。
- 1950(昭和25)年、朝日新聞西部支社(小倉)勤務中に書いた第一作「西郷札」が『週刊朝日』の“百万人の小説”に入選し、1953(昭和28)年に「或る『小倉日記』伝」が第28回芥川賞を受賞。以後作家活動に専念する。

##### 関連する物語

小説「或る『小倉日記』伝」  
小説、映画、テレビドラマ「点と線」

##### 観光情報

松本清張文学記念館(北九州市小倉北区)  
北九州市立文学館  
「点と線」トリックにも使われた JR(当時国鉄)香椎駅と西鉄香椎駅、周辺商店街  
小倉城  
北九州市観光案内ボランティア

#### 3) 北原白秋

(詩人)

##### 物語の概要

- 1885(明治18)年1月25日～1942(昭和17)年11月2日没。
- 本名、隆吉(りゅうきち)。福岡県柳川市出身。
- 宮崎県出身の歌人若山牧水は、早稲田大学英文科の同級生。その頃、白秋は号を「射水」と称しており、中林蘇水とともに早稲田の三水と呼ばれる。
- 詩集「邪宗門」を皮切りに、次々と傑作を世に送り出す。
- 山田耕筰とのコンビで「待ちぼうけ」「からたちの花」など、300曲近い童謡や校歌を手掛けた。

##### 関連する物語

詩歌『思ひ出』  
伝記 若山牧水  
伝記 中林蘇水  
伝記 江口章子

##### 観光情報

立秋詩碑(松月文人館の庭内)	白秋祭
北原白秋記念館	白秋生誕祭
柳川 川下り	柳川観光ボランティアガイド
北原白秋生家	

#### 4) 小泉八雲

(文学者)

##### 物語の概要

- 1850(嘉永3)年6月27日～1904(明治37)年9月26日没。
- 本名、パトリック・ラフカディオ・ハーン。ギリシャ出身。
- 16歳の頃左目を失明。19歳の時渡米し、貧困生活の中に苦学を続け、ついに新聞記者として認められるに至った。
- 1891(明治24)年、小泉節子と結婚、熊本市の第五高等学校(熊本大学の前身校)で英語を教える。1895(明治28)年に小泉八雲(こいずみやくも)と改名した。「東の国から」と「心」の二編は熊本における大きな収穫であった。

##### 関連する物語

小説「東の国から」  
小説「心」

##### 観光情報

小泉八雲熊本旧居(熊本市安政町)	熊本博物館
熊本城	五高記念館
水前寺成趣園	熊本城周遊バス

#### 5) 夏目漱石

(文学者)

##### 物語の概要

- 1867(慶応3)年2月9日～1916(大正5)年12月9日没。
- 本名、金之助(きんのすけ)。東京都新宿区出身。
- 熊本に住んだ1896(明治29)年4月から1900(明治33)年7月までの約4年間、五高で教鞭をとっていた。
- 第一の住まいで鏡子夫人を迎え、結婚式を挙げた。漱石夫妻がもっとも気に入っていたのが5番目の内坪井の家で、ここで長女筆子が生まれた。小天や阿蘇への旅は、文学作品「草枕」「二百十日」のもととなった。

##### 関連する物語

小説「草枕」  
小説「二百十日」

##### 観光情報

夏目漱石内坪井旧居	草枕交流館
前田家別邸跡	二百十日の宿
熊本近代文学館(熊本市出水)	五高記念館
草枕温泉	

### (2) 九州の旅・街道の物語

#### 6) 街道をゆく

(紀行)

##### 物語の概要

- 司馬遼太郎著。紀行文。1971(昭和46)年9月～1996(平成8)年11月『週刊朝日』に連載。
- 25年間、1147回にわたり連載され、取材した街道は72、原稿用紙1万8千枚に及んだ。
- 九州との交流が深いアジア、ヨーロッパの海外物語も多く取り上げられている。九州では「壱岐・対馬の道」、「島原・天草の諸道」、「肥前の諸街道」、「肥薩のみち」、「中津・宇佐のみち」、「種子島みち」、「豊後・日田街道」と7つの街道物語がある。

##### 関連する物語

伝記 広瀬淡窓  
歴史 後漢書東夷伝・魏志倭人伝  
歴史 元寇  
歴史 西南戦争  
伝記 福沢諭吉  
伝記 大隈重信

##### 観光情報

岳ノ辻、勝本	薦(こも)神社、宇佐神宮
島原市、口之津町	住吉浜、種子島城址
元寇防塁、虹の松原	飯田高原、金鱗湖
田原坂、熊本城	ほか九州に多数点在

## 7) 五足の靴

(紀行)

## 物語の概要

1. 新詩社主宰・与謝野寛(鉄幹)、木下杢太郎、北原白秋、平野万里、吉井勇著。紀行文。1907(明治40)年8月『東京二六新聞』に連載。
2. 若き天才詩人の五人連れが旅先から交互に執筆を行い、「五足の靴」と題して計29回連載。
3. 寛は「明星」を中心に妻である晶子とともに華々しく活動し、他の4人は大学1年生だった。
4. 「五足の靴」が旅したルートは、下関 博多 柳川 佐賀 唐津 平戸 長崎 茂木 富岡 大江 牛深 三角 島原 長洲 熊本 阿蘇。
5. 一行が訪れてから2007(平成19)年で100周年を迎えた。

## 関連する物語

伝記 与謝野鉄幹  
伝記 北原白秋

## 観光情報

鏡山  
虹の松原  
唐津駅前記念碑  
五足の靴文学遊歩道

大江天主堂  
島原城  
垂玉温泉「山口旅館」  
北原白秋記念館  
五足の靴顕彰全国短歌大会

## 8) 肥前の菓子～シュガーロード長崎街道に行く～

(紀行)

## 物語の概要

1. 村岡総本舗社長・村岡安廣著。2006(平成18)年刊。
2. 肥前の菓子の歴史を、肥前の風土、南蛮菓子、米の菓子、小麦の菓子、小城羊羹にわけて紹介。
3. 著者は研究のためポルトガル、スペイン、韓国、中国、タイなど多くの国を訪れている。
4. 江戸時代、中国やオランダの菓子が長崎に伝わり、佐賀、小倉まで長崎街道に沿って広がった。この道がシュガーロードと呼ばれる。

## 関連する物語

小説「街道をゆく」  
歴史 長崎街道

## 観光情報

塩田宿  
浜宿  
沿道のお菓子  
カステラ(長崎)、おこし(諫早)、丸ポーロ(佐賀)、けいらん(佐賀)、小城羊羹(佐賀)、鶏卵素麺(福岡)、ひよこ(福岡)、千鳥饅頭(福岡)、鶴の子(福岡)等

シュガーロード検定  
志田焼の里博物館

## 9) 山頭火日記『行乞記』

(紀行)

## 物語の概要

1. 種田山頭火著。
2. 放浪の俳人種田山頭火が、1930(昭和5)年9月10日から日奈久温泉の木賃宿「織屋」に3日滞在し、「温泉はよい、ほんたうによい。ここは山もよし海もよし」と、『行乞記』に書いている。「織屋」は、今は営業していないが観光スポットとなっている。街のいたるところに山頭火の句が書かれた句板がある。
3. この旅はこの後、人吉～小林～都城～宮崎、さらに下関～福岡～佐賀と続き、各地で詠んだ句が残っている。

## 関連する物語

小説「どうしようもない私」  
小説「小説 山頭火」

## 観光情報

織屋  
日奈久温泉街案内人の会  
佐敷宿

佐敷城跡  
飫肥の町並み  
飫肥城  
嬉野温泉

## 10) 男はつらいよ

(映画)

### 物語の概要

1. 山田洋次監督(一部作品除く)。渥美清主演。1969(昭和44)年～平成7年。計48作品を制作。
2. あらすじ: テキ屋稼業を生業とする"フーテンの寅"こと車寅次郎が、故郷の葛飾柴又に戻ってきては大騒動を起こす人情喜劇シリーズ。
3. その中で九州が登場する作品も多く、第12作「私の寅さん」では熊本県・天草、阿蘇や大分県・別府を中心にロケが行われ、第14作「寅次郎子守唄」では佐賀県唐津市を中心にロケが行われるなど、13作品で九州が登場している。
4. シリーズ最終作となった第48作「寅次郎紅の花」では奄美大島でロケが行われた。

### 関連する物語

映画「男はつらいよ」シリーズ

### 観光情報

天草

阿蘇

別府

奄美大島

唐津市

壱岐・対馬

杵築

枕崎市

## 11) 釣りバカ日誌

(映画)

### 物語の概要

1. 栗山富夫監督。西田敏行、三國連太郎主演。1988(昭和63)年～2007(平成19)年。計20作品を制作。
2. あらすじ: 万年ヒラ社員のハマちゃん(西田敏行)と鈴木建設の社長(三國連太郎)がおりなすコメディ映画シリーズ。
3. 9作: 鈴木建設が工事を請け負っている鹿児島県川内市の“まごころ文学館”の鍬入れ式に、同行する設定で川内を訪れる。  
16作: 佐世保では、九十九島、佐世保バーガー、ハウステンボス、弓張岳といった佐世保の観光資源が豊富に紹介されている。このほか2作品でも九州が取り上げられている。

### 関連する物語

映画「釣りバカ日誌」シリーズ

漫画「釣りバカ日誌」

アニメ「釣りバカ日誌」

### 観光情報

九十九島

ハウステンボス

弓張岳

グラバー園

薩摩川内市

甕島

## 12) 美味しんぼ

(アニメ)

### 物語の概要

1. 雁屋哲原作、花咲アキラ作画。1983(昭和58)年～2008年現在。小学館『ビッグコミックスピリッツ』にて漫画連載中。
2. グルメ漫画及び日本のグルメブームの中心になったと一般にいわれている漫画。1話完結を基本として掲載されている。
3. 3巻で球磨焼酎、39巻で嬉野温泉湯どうぶ、71巻で大分の郷土料理、95巻で宮崎、鹿児島島の酒造が紹介されている。

### 関連する物語

テレビアニメ「美味しんぼ」

テレビドラマ「美味しんぼ」

映画「美味しんぼ」

### 観光情報

球磨焼酎の蔵元

嬉野温泉 湯豆腐

嬉野温泉街、飲食店

亀の井別荘

黒木本店

軸屋酒造

村尾酒造



### (3) 九州の島の物語

#### 13) ものけ姫

(アニメ映画)

##### 物語の概要

1. 宮崎駿監督。1997(平成9)年7月12日公開。
2. あらすじ:タタリ神の呪いをかけられてしまったアシタカは、その呪いを断つため、シシ神の森へと向かった。そしてその中、アシタカは、山犬とともに行動する一人の荒々しくも美しい少女、サンと出会う。「もののけ」と呼ばれる山の獣たちや山神と、人間との抗争を通し、生と死をテーマにして描かれているスタジオジブリの長編アニメーション映画作品。
3. 屋久島(白谷雲水峡)が 獣神の森のモデルとなった。

##### 関連する物語

詩歌「びろう葉帽子の下で」  
小説「浮雲」

##### 観光情報

白谷雲水峡  
縄文杉  
屋久島環境文化村センター

屋久杉自然館  
平内海中温泉  
千尋の滝

#### 14) 俊寛

(歌舞伎、小説)

##### 物語の概要

1. 不明～1180(治承4)年没。
2. 別名、俊寛僧都(しゅんかんそうず)。平安後期の僧。
3. 1177(治承元)年の鹿ヶ谷の陰謀が失敗し鬼界ヶ島(薩摩国)に流された。やがておとずれた赦免の船にもものれず、たったひとり、島に残されてしまう。
4. 俊寛の物語は近松門左衛門が歌舞伎「平家女護島(へいけにょごがしま)」として書き下ろし、その二段目「俊寛」だけが独立して上演されてきた。海外でもよく上演されている。
5. 世阿弥による能の演目として、菊池寛作「俊寛」、芥川龍之介作「俊寛」としても著名。

##### 関連する物語

歌舞伎「平家女護島」

##### 観光情報

僧俊寛の墓(喜界島)  
俊寛像(硫黄島)  
俊寛堂(硫黄島)

百之台公園(喜界島)  
露天風呂・東温泉(硫黄島)  
恋人岬(硫黄島)

#### 15) Dr. コトー診療所

(アニメ、テレビドラマ)

##### 物語の概要

1. 漫画 山田貴敏作。2000(平成12)年～2008(平成20)年現在。『小学館週刊ヤングサンデー』で連載中。  
テレビドラマ 2003(平成15)年放送。
2. あらすじ:絶海に浮かぶ孤島、古志木島。満足な医療設備も整わないその島に一人の天才外科医・五島健助が舞い降りた時、奇跡のドラマの扉が開く!
3. 単行本は1000万部を超える大ヒット。2004(平成16)年に第49回小学館漫画賞一般向け部門を受賞。
4. 鹿児島県の下甕島(薩摩川内市)の下甕手打診療所にて、28年間離島医療に携わってきた医師をモデルに作られた。

##### 関連する物語

##### 観光情報

甕島下甕手打診療所の実在の医師  
瀬戸上健二郎医師をモデル  
原作中の「古志木島」は「甕島」をモデル

薩摩川内市里町のトンボ口地形  
薩摩川内市上甕町の長目の浜  
薩摩川内市下甕町のナポレオン岩  
薩摩川内市里町武家屋敷跡、下甕町武家屋敷通り

## 16) 奈緒子

(アニメ、映画)

## 物語の概要

1. 漫画 坂田信弘原作・中原裕作画。1994(平成6)年～2003(平成15)年。小学館『ビッグコミックスピリッツ』にて連載。映画 古厩智之監督。上野樹里主演。2008(平成20)年公開。
2. あらすじ: 波切島という架空の島(壱岐がモデル)を舞台に、幼い日の事故で父を失った少年・雄介とその父に命を救われた少女・奈緒子が、高校駅伝というスポーツを通して、背負った悲しみを乗り越えていく。
3. 映画のロケが壱岐市と長崎市で行われた。

## 関連する物語

## 観光情報

女神大橋

眼鏡橋

長崎水辺の森公園

辰ノ島

大浜海水浴場

郷ノ浦大橋

## 17) 浮雲

(小説、映画)

## 物語の概要

1. 小説 林芙美子著。1949(昭和24)年刊。映画 成瀬巳喜男監督。高峰秀子主演。1955(昭和30)年公開。
2. 鹿児島に縁の深い林芙美子の晩年の作品。
3. あらすじ: 南印から引き揚げてきた若い女性、幸田ゆき子の短く激しい一生の物語。恋人に連れられて東京から鹿児島、そして屋久島へたどりつき死んでいく主人公は、戦後の混乱そのものの象徴。作者は、屋久島まで足を運び、丹念に取材した。完成まで3年を費やし、その過労で亡くなったといわれる大作。

## 関連する物語

## 観光情報

映画「もののけ姫」

詩歌「びろう葉帽子の下で」

小説「放浪記」

屋久島安房川

林芙美子文学碑(鹿児島市桜島町)

かごしま近代文学館・メルヘン館

湯之平展望所

埋没鳥居

ホテル屋久島山荘(「浮雲執筆の部屋」)

## (4) 九州の街の物語

## 18) 無法松の一生

(小説、映画)

## 物語の概要

1. 小説 地元作家岩下俊作著。1939(昭和14)年「富島松五郎伝」の題で『九州文学』に掲載。1940年(昭和15)年『オール読物』に掲載。映画 稲垣浩監督。阪東妻三郎主演。1943(昭和18)年公開。その後3度映画化される。映画があまりの人気となったため、後に映画にならい改題した。
2. あらすじ: バクチ好きで喧嘩早い人力車夫富島松五郎は、ふとしたことで陸軍大尉の吉岡一家と知り合う。大尉急逝の後、未亡人と息子の世話を焼く。

## 関連する物語

## 観光情報

歌謡・民謡「無法松の一生」

小倉祇園太鼓

小倉城、陸軍12師団正門跡

無法松の碑

北九州市観光案内ボランティア

菅生の滝

いのちのたび博物館

## 19) 花と龍

(小説、映画)

## 物語の概要

1. 小説 火野葦平著。1950(昭和25)年6月20日～1951(昭和26)年5月11日。『読売新聞』に324回連載。1953(昭和28)年新潮社から刊。  
映画 並木鏡太郎監督。大谷友右衛門主演。1954(昭和29)年。以後計6度も映画化される。
2. あらすじ: 作者の父玉井金五郎と母マンの生涯を小説化した。  
1906(明治39)年、玉井親子は石炭積み出しでにぎわう若松にやって来た。吉田磯吉親分やドテラ婆さんのいる土地で、玉井組は頭角を現していく。

## 関連する物語

小説「無法松の一生」

## 観光情報

玉井組事務所跡  
河伯洞(火野葦平旧居)  
火野葦平資料室

若松バンド  
恵比寿神社  
火野葦平文学碑

## 20) 長崎ぶらぶら節

(小説、映画)

## 物語の概要

1. 小説 なかにし礼著。1999(平成11)年刊。  
映画 深町幸男監督。吉永小百合主演。2000(平成14)年公開。
2. あらすじ: 明治から昭和にかけて、長崎の花街丸山に実在した芸者愛八の一生。器量よりも気風の良さと三味線と歌の名手として知られた愛八は、民俗学者古賀十二郎と共に埋もれた長崎民謡の発掘に取り組む。古賀へのほのかな思いを胸に秘め、隠れキリシタンの歌などを聞き取り調査し、やがて明治初期に廃れた「長崎ぶらぶら節」を発掘する。その歌は西條八十に見出され、レコード化される。

## 関連する物語

歌謡・民謡「長崎ぶらぶら節」  
歴史 亀山社中

## 観光情報

長崎市丸山界限  
料亭花月  
身代わり天神梅園天満宮

愛八の墓  
長崎くんち  
長崎ぶらぶら節ツアー

## 21) 博多っ子純情

(アニメ、映画)

## 物語の概要

1. 漫画 福岡市出身の長谷川法世作。1976(昭和51)年～1983(昭和58)年「漫画アクション」に連載。  
映画 曽根中生監督。三石研主演。1978(昭和53)年公開。
2. あらすじ: 博多の町を舞台に、博多人形師の息子郷 六平 と 幼なじみ小柳類子らの中学生から大学生までを描いた青春漫画。全国に「博多」を広め、地方文化を全国に発信させた劇画の先駆けといえる。1995(平成7)年のNHK連続テレビ小説「走らんか」の原作となる。
3. 同じ福岡市出身の漫画家長谷川町子による「サザエさん」も、1946(昭和21)年4月、福岡の「夕刊フクニチ」の連載から始まり、舞台は博多だった。

## 関連する物語

歌謡・民謡「博多っ子純情」  
NHK連続テレビ小説「走らんか」  
漫画「サザエさん」

## 観光情報

櫛田神社  
東長寺  
博多祇園山笠(7月1日～15日)  
即席ラーメン「うまかっちゃん」イメージキャラクター  
銘菓「博多通りもん」CMキャラクター  
博多町家ふるさと館(長谷川法世館長)

## 22) 風のハルカ

(テレビドラマ)

### 物語の概要

1. 大森美香作。2005(平成17)年、NHK連続テレビ小説。
2. あらすじ: レストランを夢見る父に連れられた主人公ハルカが、妹と共に緑豊かな湯布院へ移住するところから始まる。両親の離婚やレストランの廃業、幼友達との報われない恋、さまざまな出会いと別れを経験し、ハルカは幸せの意味を学び成長していく。
3. NHK連続テレビ小説で九州が舞台となった作品は「たまゆら」からはじまり「おしん」、「走らんか」、「オードリー」、「まんてん」など13作に及ぶ。

### 関連する物語

### 観光情報

狭霧台

由布院駅

金鱗湖

風のハルカ ロケ地マップを作り配布している

由布院観光総合事務所

ロケ地巡りツアー等が可能

## 23) なごり雪

(歌、映画)

### 物語の概要

1. 歌 伊勢正三作詞・作曲・歌唱。1974(昭和49)年、かぐや姫のアルバムに収録。1975(昭和50)年、イルカの歌でシングルとして発売。  
映画 大林宣彦監督。三浦友和、須藤温子主演。2002(平成14)年公開。
2. 原曲の「なごり雪」がイメージモチーフとなり映画化。臼杵の独特の町並みが映画の舞台として撮影されている。
3. 大林宣彦作品として同じく伊勢正三「22才の別れ」をモチーフとした「22才の別れ Lycoris 葉見ず花見ず物語」が津久見の街を舞台として映画化。

### 関連する物語

歌、映画「22才の別れ」

### 観光情報

二王座歴史の道

岡城跡

国宝臼杵石仏

虹潤橋

黒島海水浴場

雄城神社

多福寺

国宝臼杵石仏火祭り

## (5) 九州での青春・ノスタルジー

## 24) 青春の門 筑豊篇

(小説、映画、テレビドラマ)

### 物語の概要

1. 小説 五木寛之著。1969(昭和44)年から『週刊現代』で連載。翌年より「筑豊篇」をはじめ、全7シリーズが刊行。シリーズ累計で、2000万部を超えるベストセラーとなる。  
映画 浦山桐郎監督。田中健主演。1975(昭和50)年公開。計2回映画化。  
テレビドラマ 1976(昭和51)年放送。計3回テレビドラマ化。
2. あらすじ: 1940年代の日本を舞台に、炭鉱で生活する人々の生き様とそこで成長する青年の姿を描いた名作。

### 関連する物語

漫画版「青春の門 筑豊篇」 いわしげ孝作・2005(平成17)年~2006(平成18)年

### 観光情報

田川市

石炭記念公園

飯塚市

田川市石炭・歴史博物館

香春岳

岩屋鍾乳洞

## 25) 次郎物語

(小説、映画)

## 物語の概要

1. 小説 下村湖人著。1941年(昭和16)年～1954年(昭和29)年刊。全5部。未完。  
映画 監督:島耕二、主演:杉幸彦。1941(昭和16)年公開。  
監督:森川時久、出演:加藤剛、高橋恵子、永島敏行。1987(昭和62)年公開。
2. あらすじ:乳母の愛に包まれるのびのびと育った次郎は、5歳の時、生家に連れ戻される。母や祖母、兄弟ともなじめず、愛に飢え悩みながら成長する次郎の姿、暖かく包み込む父の愛、神崎市千代田町一帯のなつかしい田園風景とともに魂を揺さぶられる名作。
3. 映画の撮影では佐賀県千代田区にある作者下村湖人の実家の周辺や生家が撮影に使われている。

## 関連する物語

## 観光情報

下村湖人生家(神崎市千代田町)	佐賀県観光ガイド専門員
田中酒造	次郎の森公園
下村湖人の生家周辺には次郎物語遊歩コースが整備されている。	九年庵

## 26) 69

(小説、映画)

## 物語の概要

1. 小説 村上龍著。1987(昭和62)年8月10日刊。  
映画 李相日監督。妻夫木聡主演。2004(平成16)年公開。
2. あらすじ:1969(昭和44)年の長崎県佐世保市を舞台に作者自身の実体験を基にした青春小説。九州の西の端、基地の町の普通高校を舞台にした物語。楽しく生きるをモットーに生きる佐世保の高校生ケン、成り行きから、学校のバリエード封鎖を思い立つ。事態はケンの思惑を越えて、警察沙汰になってしまう。

## 関連する物語

## 観光情報

烏帽子岳	峰坂
観潮橋	佐世保バーガー
立神音楽堂	ハウステンボス
九十九島の会(ボランティアガイド)	

## 27) 佐賀のがばいばあちゃん

(小説、映画、テレビドラマ)

## 物語の概要

1. 小説 タレント島田洋七著。1993(平成5)年刊。  
映画 倉内均監督。吉行和子主演。2006(平成18)年公開。  
ドラマ 2007(平成19)年1月放送。
2. あらすじ:作者が佐賀の祖母と二人で暮らした少年時代の体験を綴った自伝作。昭和30年代の日本人の心の原風景と重なり、ばあちゃんの発する言葉、一言ひとことが人生の教科書として話題に。涙あり笑いありの感動作。
3. テレビドラマの主要ロケ地は、市長が中心となって誘致を進めた武雄市。同市は「佐賀のがばいばあちゃん課」を設置しロケ支援を全面的に行った。

## 関連する物語

## 観光情報

オープンセット(淀姫神社の向かい側)	武内町上古賀地区観音様
田代酒造跡	ロケ地巡りツアー
武雄神社	武雄温泉ボランティア観光ガイド
佐賀城跡	

## 28) 母に捧げるバラード

(歌、小説、舞台)

### 物語の概要

1. 歌 武田鉄也率いる「海援隊」歌唱。1973(昭和48)年。1974(昭和49)年には紅白歌合戦に初出場を果たす。  
小説 武田鉄也著。2002(平成14)年刊。  
舞台 武田鉄也主演。2002(平成14)年公演。
2. 武田自身の自伝的な歌で、プロミュージシャンを夢見るバカ息子を叱咤する母親のユーモラスなセリフがヒットの鍵となった。当時としては、セリフの博多弁の物珍しさもあった。この歌の爆発的なヒットによって、武田鉄也の母は一躍有名になり、マスコミ取材や講演会依頼を受けるようになった。

### 関連する物語

テレビドラマ「コラ!なんばしよっと」  
歴史、歌 照和ライブハウス列伝

### 観光情報

ライブハウス「照和」  
福岡市博多区  
大濠公園

福岡タワー  
福岡市観光案内ボランティア

## 29) 東京タワー オカンとボクと、時々、オトン

(小説、映画)

### 物語の概要

1. 小説 リリー・フランキー著。2005(平成17)年刊。200万部を超える大ベストセラーとなる。  
映画 松岡錠司監督。オダギリジョー、樹木希林主演。2007(平成19)年公開。日本アカデミー賞、最優秀作品賞を含む計5部門を受賞。
2. あらすじ: 作者が亡き母への思いをつづった自伝作、1960年代。3歳のボクは、遊び人のオトンを捨てたオカンに連れられ、小倉から筑豊のオカンの実家に戻ってきた。オカンは女手ひとつでボクを育てた。15歳になって、ボクはこの町を出て行きたくなった。大分の美術高校に入学し、東京の美大をなんとか卒業するが、仕事もせずに、仕送りしてもらい、更に借金を重ねていた。そんな中、オカンが癌に侵されていることが分かった。

### 関連する物語

### 観光情報

小倉駅前西  
小倉城  
北九州市立文学館

門司港レトロ  
海峡ドラマシップ  
松本清張記念館

## 30) 精霊流し

(歌、小説、映画)

### 物語の概要

1. 歌 さだまさし作詞・作曲。さだまさしと吉田政美のデュオ「グレープ」歌唱。1974(昭和49)年。さだは同年、日本レコード大賞作詞大賞を受賞。  
小説 さだまさし著。2001(平成13)年刊。  
映画 田中光敏監督。内田朝陽主演。2003(平成15)年公開。
2. 映画では長崎市民の協力により『精霊流し』が再現され、クライマックスを鮮やかに彩った。
3. 毎年8月15日には、初盆の霊を船に乗せ、西方浄土へ送る伝統行事「精霊流し」が行われる。

### 関連する物語

小説、映画「解夏」

### 観光情報

東山手洋館住宅群  
オランダ坂  
眼鏡橋  
松森天満宮

史跡料亭「花月」  
諏訪神社  
長崎市ボランティア観光ガイド

(6) ロマンティック LOVE STORY IN 九州

31) 黄泉がえり

(小説、映画)

物語の概要

1. 小説 梶尾真治著。SF小説。2000(平成12)年刊。  
映画 塩田明彦監督。草薙剛主演。2003(平成15)年公開。
2. あらすじ:熊本市のある地域で死者が蘇るとい現象が多発する。しかしこの世にいられるのは3週間。主人公と蘇った思いを寄せる女性とのSFラブファンタジー。
3. 映画では阿蘇が舞台となる。

関連する物語

観光情報

仁王通り  
藤崎八幡宮  
日限の地蔵  
熊本テルサ

熊本城  
水前寺成趣園  
「阿蘇内牧温泉街」阿蘇市内牧  
阿蘇火山博物館

32) のだめカンタービレ

(アニメ、テレビドラマ)

物語の概要

1. 漫画 ニノ宮和子原作。2001(平成13)年～2008(平成20)年現在『Kiss』連載中。  
ドラマ 2006(平成18)年10月～12月放送。
2. あらすじ:東京の桃ヶ丘音楽大学ピアノ科に在籍しながら、指揮者を目指すエリート千秋真一は、音楽と恋愛に行き詰っていた。同じピアノ科に在籍する福岡県大川市出身の「のだめ」こと野田恵は、楽譜を読むのが苦手ながら音楽を一度耳で聴けばそのとおりに弾ける天才肌。全く異質の二人が次第に互いの才能を認め合っていく。

関連する物語

オムニバスCD「のだめカンタービレ」

観光情報

花宗大橋交差点  
筑後川河口付近のクリーク  
干潟よか公園  
筑後川の諸富橋が見える堤防

筑後川昇開橋  
銘菓「博多通りもん」  
酒蔵見学 清力酒造、若波酒造  
酢蔵見学 酢屋商店

33) リツ子 その愛

(小説、テレビドラマ)

物語の概要

1. 小説 檀一雄著。1950(昭和25)年刊。  
ドラマ 1968(昭和43)年放送。
2. あらすじ:作者自ら病魔に冒された愛妻との日々をつづった。  
「私」は戦時下、見合い結婚でリツ子と結ばれ、一男をもうける。しかし、リツ子は結核に冒され、病の床につく。幼い息子を抱え、食糧難の中で食料を求め、必死に妻の看護をする。狂おしいほどもだえ、祈り、時には妻の死すら願ってしまう日々を赤裸々に一人称で語る。
3. 檀一雄は、晩年、能古島に居住。20年来の作品「火宅の人」を執筆。福岡で没す。

関連する物語

小説「火宅の人」

観光情報

檀一雄文学碑、旧宅(能古島)  
檀一雄文学碑(柳川市)  
能古島

リツ子・その愛執筆記念碑  
のこのしまアイランドパーク  
能古博物館

(7) その事件は九州で起きた

34) 復讐するは我にあり

(小説、映画)

物語の概要

1. 小説 佐木隆三著。1976(昭和51)年刊。第74回直木賞を受賞。  
映画 今村昌平監督。緒方拳主演。1979(昭和54)年公開。その年の映画賞を総なめにする。
2. あらすじ: 実在した連続殺人犯の犯行を題材にした作品。1963(昭和38)年。当時の日本人々はたった一人の男に恐怖していた。敬虔なクリスチャンでありながら「俺は千一屋だ。千に一つしか本当のことは言わない」と豪語する詐欺師にして、女性や老人を含む5人の人間を殺した連続殺人犯。延べ12万人に及ぶ警察の捜査網をかいぐり、78日間もの間逃亡したが、1964(昭和39)年に熊本で逮捕され、43歳で処刑された。

関連する物語

観光情報

実際の犯人が行橋市に住んでいた  
事件の犯行現場で別府が登場  
中通島(五島)

別府八湯  
オンパク  
アルゲリッチ音楽祭

35) LIMIT OF LOVE 海猿

(アニメ、映画)

物語の概要

1. 漫画 佐藤秀峰著。2006(平成18)年刊。  
映画 羽住英一郎監督。伊藤英明主演。2004(平成16)年公開。フジテレビジョン、ロボットによる漫画「海猿」を原作とするテレビドラマ・映画のコラボレーション作品。
2. あらすじ: (劇場用映画「海猿」の第2編)乗員乗客600名が乗ったカーフェリーが錦江湾で座礁、沈没の危機が迫る中、海上保安庁の救難隊が救助に向かう。刻々と迫るタイムリミットの中、船内に取り残された主人公の潜水士は、必ず生還するという恋人との約束を果たすことができるか?
3. 『ブラックジャックによろしく』で知られる佐藤秀峰のコミックを原作に、『躍る大捜査線 THE MOVIE』のスタッフたちが作り上げた海洋エンターテインメント作品。

関連する物語

観光情報

テレビドラマ  
「海猿 UMIZARU EVOLUTION」

鴨池港  
鹿児島県庁周辺  
ホテルニューカゴシマピアガーデン

西郷隆盛銅像  
ザビエル公園  
鹿児島観光ボランティア

36) 007は二度死ぬ

(映画)

物語の概要

1. ルイス・ギルバート監督。ショーン・コネリー主演。1967(昭和42)年公開。日英合作の国際的作品。
2. あらすじ: アメリカ・ソ連の宇宙衛星が次々と姿を消すという不思議な事件が起こっていた。冷戦状態にあった米ソ両国は、それをお互いの陰謀と思い、開戦への緊張が高まっていた。英国諜報部は謎のロケットが日本から発射されていることを突き止めた。日本へ向かったボンドは、ついに小さな火山島にスペクターのロケット工場を発見する。
3. 日本の出演者は、丹波哲郎、浜美枝。奇岩怪石の秋目を舞台にしたアクション&ロマンス。
4. 坊津、阿蘇で大ロケーションが行われた。

関連する物語

観光情報

映画「007」シリーズ

南さつま市坊津町秋目(撮影記念碑)  
霧島(新燃岳)  
笠沙恵比寿

鑑真記念館  
密貿易屋敷跡  
双剣石



## 歴史・伝記を中心として(作品を含む)

### (1) アジアとの交流

#### 37) 後漢書東夷伝・魏志倭人伝

(歴史書)

##### 物語の概要

1. 後漢書東夷伝は宋の范曄の編。倭奴国が57年後漢に朝貢し、光武帝より金印を授く。江戸時代に志賀島で「漢委奴國王」発見。
2. 魏志倭人伝は西晋の陳寿編。邪馬台国の卑弥呼が239年魏に朝貢、「親魏倭王」の金印・鏡を授く。邪馬台国のほか、末盧国、伊都国、奴国に関する記述がある。

##### 関連する物語

歴史 邪馬台国伝説  
 歴史 金印発見  
 小説「まぼろしの邪馬台国」

##### 観光情報

吉野ヶ里遺跡	平原遺跡
平塚川添遺跡	西都原古墳
原の辻遺跡	宇佐神功
福岡市博物館	志賀島

#### 38) 徐福渡来

(伝説)

##### 物語の概要

1. 中国の秦の時代(紀元前3世紀頃)。
2. 秦の始皇帝が不老不死の薬を求め、神仙の術を行う方士の1人である徐福が「東海に蓬莱島あり、島上に仙山あり、山上に仙草あり、食すれば不老不死を得る」と進言し日本へ旅立った。一行は上陸地を探すために盃を浮かべ、流れ着いたところに上陸した(浮盃)。その時海が荒れ、船が沈もうとしたのをアミが助けたため、この地の人はアミをとらないという。上陸する際、芦をかき払って上陸したため片葉の芦となる。その後、手を洗うために井戸を掘り、金立へ旅立つときにここを第2の故郷と思いビャクシンを植えた。
3. 徐福が上陸した地点として九州の佐賀県佐賀市や鹿児島県いちき串木野市などが言い伝えられている。

##### 関連する物語

映画「徐福さん」  
 小説「蓬莱」

##### 観光情報

徐福像(諸富町)	新北神社(諸富町)
徐福長寿館(金立町)	童男山古墳(八女市)
金立神社(金立町)	冠岳(日本一の徐福石像・いちき串木野市)

#### 39) 百済王伝説

(伝説)

##### 物語の概要

1. 660年頃(飛鳥時代)。
2. 朝鮮半島にあった百済が滅ぼされたとき、百済王の禎嘉王は息子の福智王と華智王と共に日本に逃れ、最終的に宮崎にたどり着き、旧南郷村の神門と木城町の比木に別々に暮らし始めるが、ほどなく追手の軍勢が追いつき、旧東郷町の伊佐賀で激しい戦いが行われた。劣勢の禎嘉王軍を比木から駆けつけた福智王が救うが、矢を受けた華智王、禎嘉王は亡くなってしまう。やがて異国の地で果てた3人の王の死を悼んだ村人達によって丁重に祀られた。
3. 美郷町旧南郷村に伝わる伝説。

##### 関連する物語

伝記 百済第25代国王・武寧王  
 歴史「日本書紀」

##### 観光情報

神門神社	御池・白水の滝(椎葉村)
塚の原古墳	霧立越(椎葉村・五ヶ瀬町)
百済の館	百済の里観光ボランティア協会
	鞠智城(山鹿市)

#### 40) 鴻臚館

(歴史)

##### 物語の概要

1. 記録では7世紀頃～11世紀。9世紀前までは、筑紫館と呼ばれる外国用社交施設を起源とする。
2. 外国からの賓客を迎える迎賓館として、鴻臚館が筑紫(福岡市)・難波(大阪)・平安京(京都)の3ヶ所に置かれた。
3. そのうち筑紫の鴻臚館は、福岡市中央区城内に1987(昭和62)年発見され、国指定史跡になっている。発見以来、発掘調査が行われ、2021年度まで続く。

##### 関連する物語

歴史「日本書記」  
歴史 大宰府

##### 観光情報

鴻臚館跡展示館  
舞鶴公園  
太宰府天満宮

大宰府政庁跡  
水城跡  
福岡市観光案内ボランティア

#### 41) 元寇

(歴史)

##### 物語の概要

1. 「文永の役」1274(文永11)年。「弘安の役」1281(弘安4)年。
2. 鎌倉時代、大陸を支配していた元及び属国高麗が日本侵略を謀って二度にわたって日本に襲来。この侵略戦争に対する日本側の呼称である。
3. 最初の襲来「文永の役」では対馬、壱岐を襲撃し、平戸鷹島の松浦党の本拠を全滅させ、壱岐守護代の平景隆を自害に追い込んだ。さらに博多・箱崎に上陸。名乗りを上げての一騎打ちなど、日本的な戦術が通じず、日本軍は苦戦したが、からも内陸への侵略を阻止した。この際、博多市中と筥崎宮は炎上した。

##### 関連する物語

小説「蒼き海狼」  
歴史解説  
「蒙古襲来 海から見た歴史」

##### 観光情報

筥崎宮  
元寇防塁跡  
元寇史料館

元寇の礎  
壱岐神社  
安国寺

#### 42) 天翔ける倭寇

(小説)

##### 物語の概要

1. 津本陽著。1993(平成5)年刊。
2. あらすじ: 鉄砲伝来直後の乱世のただなか、五島・平戸・長崎に居住した大海賊王直の手下となって大陸に渡った若者たちの夢とロマンを描いた海洋冒険小説。

##### 関連する物語

小説「倭寇-日本あふれ活動史」  
小説「疾風に告げよ」  
小説「鞭鞭疾風録」

##### 観光情報

王直屋敷跡(兼天文寺跡)  
平戸の町並みと古い小道  
松浦史料博物館  
平戸観光資料館

平戸城  
オランダ商館跡  
平戸観光ウェルカムガイド

#### 43) 名護屋城(朝鮮出兵)

(歴史)

##### 物語の概要

1. 1592(文禄元)年完成。
2. 肥前国松浦郡名護屋(現在の佐賀県唐津市鎮西町名護屋)にあった城。豊臣秀吉の文禄・慶長の役に際し築かれた。築城は1591(天正19)年後半に始まり、わずか数カ月で完成したといわれる。面積は約17ヘクタールで当時では、大阪城に次ぐ規模であった。金箔を施した瓦が出土しており、絢爛豪華であったことがうかがえる。
3. 1926(大正15)年11月4日、国指定史跡となる。1955(昭和30)年8月22日特別史跡に指定された。
4. 慶長7年、唐津城の築城を開始した際、名護屋城を解体しその遺材が使用された

##### 関連する物語

小説「戦国城塞傳」  
映画「乱」  
小説「梟の城」 映画「梟の城」

##### 観光情報

名護屋城跡  
名護屋城博物館  
唐津城  
遣唐使ふるさと館  
福江武家屋敷通り  
福江城

#### 44) 陶工来航

(歴史)

##### 物語の概要

1. 1568(永禄11)年～1603(慶長8)年頃。
2. 朝鮮出兵に際し、朝鮮から多くの陶工が九州有田・薩摩等に来航。
3. 豊臣秀吉、朝鮮出兵2度目の時に佐賀の鍋島公の命を受けた是琢和尚が韓国陶工、李参平を連れ帰る。そして18年の歳月を経て佐賀・有田の町に白磁器を完成させる。
4. 陶工来航を描いた作品として、薩摩焼を題材にした司馬遼太郎著「故郷忘しがたく候」、有田焼を題材にした村田喜代子著「龍秘御天歌」、「百年佳約」などがある。

##### 関連する物語

小説「故郷忘しがたく候」  
小説「龍秘御天歌」  
小説「百年佳約」  
映画「白神渡海」

##### 観光情報

李参平の碑(有田町大樽)  
泉山磁石場(有田町泉山)  
日置市東市来町美山  
さつま焼発祥の地記念碑(いちき串木野市)  
朝鮮陶工上陸の碑(いちき串木野市)  
美山陶遊館

#### 45) 朝鮮通信使

(歴史)

##### 物語の概要

1. 朝鮮通信使は朝鮮国王が派遣した外交使節団のことで、1375(永和元)年、室町幕府の将軍、足利義満からの使者と国書に対する返礼が起源とされるが、その後の中断を経て江戸時代に再開。狭義には江戸時代の通信使を指す。
2. 江戸時代の朝鮮通信使は、文禄・慶長の役によって断絶していた国交を回復すべく、幕府の命を受けた対馬藩主が朝鮮へ使者を派遣し、これを受けた朝鮮側が使節団を編成したことに始まり、計12回に渡って来日した。
3. 朝鮮通信使は、まず船で対馬に渡り、瀬戸内海を経由して大阪に上陸し、中仙道から東海道を陸路として江戸まで往復していた。

##### 関連する物語

小説「魔岩伝説」  
映画「朝鮮通信使」

##### 観光情報

対馬  
対馬アリアン祭  
長崎県立対馬歴史民俗資料館  
朝鮮国訳使殉難の碑  
韓国展望所  
文化の郷

## 46) 孫文

(伝記、政治家)

### 物語の概要

- 1866(慶応2)年～1925(大正14)年没。
- 中国革命の先導者。共和制を創始して国父と称された。
- 香港の西医書院在学中、革命を志し、マカオ・広州で反清運動に入った。以後、武力闘争・独立運動を試みるが失敗を繰り返した。日本に亡命し、1905(明治38)年中国革命同盟会を結成し、反清武装蜂起を反復した。
- 日本亡命中、孫文は多くの日本人思想家と交流。熊本県出身の宮崎寅藏(滔天)は彼を生家にかくまった。福岡出身の頭山満は最初の亡命では資金援助、二度目の亡命では日本入国の交渉を果たしている。

### 関連する物語

伝記 宮崎滔天  
小説「三十三年の夢」  
小説「孫文」  
映画「孫文」

### 観光情報

料亭「花月」  
宮崎四兄弟の生家  
宮崎兄弟資料館

旧万田坑  
岩本橋  
玄洋社記念館

## (2) 西洋との交流・キリシタンの物語

## 47) 鉄砲伝来

(歴史)

### 物語の概要

- 1543(天文12)年。
- 種子島の門倉岬に漂着したポルトガル人は時の種子島島主時堯に鉄砲を伝えた。
- 鉄砲伝来直後から種子島の鍛冶たちによって伝来銃の模造が試みられ苦難の末に成功した。鉄砲は瞬間に日本中に伝播し戦国の時代と相まって主要な武器となり戦法や築城法も大きく変わった。
- 種子島に今も語り継がれる若狭姫物語がある。これは、鍛冶金兵衛が伝来銃の模造をする際にその技術を得ようと娘若狭をポルトガル人に嫁がせたというもの。その真偽のほどは定かではないが鉄砲国産化の苦勞が偲ばれる。

### 関連する物語

映画「鉄砲伝来記」  
小説「雷神の筒」

### 観光情報

門倉岬(鉄砲伝来紀功碑)  
わかさ公園  
種子島開発総合センター(鉄砲館)

鉄浜海岸  
種子島時堯公銅像  
千座の岩屋

## 48) フランシスコ・ザビエル

(宣教師)

### 物語の概要

- 1506(永正3)年4月7日、スペインのバスク地方ナバラ王国に生まれ、1552(天文21)年12月2日没。
- 日本にキリスト教を伝導したことで有名。カトリック教会の宣教師で、イエズス会創設者の1人。
- 1549(天文18)年、鹿児島に上陸し、平戸、山口、堺、京都、大分と各地で布教活動に努めた。
- ザビエルは、アンジローの案内で鹿児島に上陸し、島津貴久に謁見。福昌寺住職忍室と交わる。また、平戸では松浦隆信、山口で大内義隆、大分で大友義鎮(宗麟)に謁見する。

### 関連する物語

小説「カルチェ・ラタン」  
歴史・伝記 キリスト教伝来  
歴史・伝記 キリスト教弾圧

### 観光情報

ザビエル上陸記念碑  
福昌寺跡  
西鹿鳴越道

ザビエル記念像  
ザビエル記念聖堂  
鹿児島カテドラル・ザビエル記念聖堂

## 49) 大友宗麟

(戦国大名)

## 物語の概要

- 1530(享禄3)年~1587(天正15)年没。
- 大友 義鎮(おおとも よししげ)法号宗麟。
- キリシタン大名としても有名だが、一時は九州6ヶ国を平定し、九州最強の大名とまで称されたことがある。しかしキリシタン王国建設間近で島津義久に敗れ、晩年には豊臣秀吉の家臣に甘んじて豊後一国を維持するのがやっとというほどまでに衰退した。
- 大分市には、現在でも大友宗麟を偲ぶ史跡が残り、その多くは歴史の重みを感じさせる。
- 九州にはキリシタン大名として有馬晴信、大村純忠、小西行長などがある。

## 関連する物語

小説「大友宗麟」  
 小説「王の挽歌」  
 伝記 小西行長  
 伝記 有馬晴信

## 観光情報

大友宗麟像  
 大友館跡碑  
 旧万寿寺跡

大友宗麟の墓  
 府内城  
 臼杵城跡

## 50) 天正少年遣欧使節

(歴史)

## 物語の概要

- 1582(天正10)年、九州の少年らに乗せた南蛮船がローマ、バチカンへ船出した。これが天正遣欧少年使節である。
- 天正遣欧少年使節は伊東マンショ、千々石ミゲル、中浦ジュリアン、原マルチノの4名。長崎を出航、約3年間の巡航の末、1585(天正13)年3月にローマに到着した。当時のローマ教皇・グレゴリウス13世やスペイン国王に謁見するなど、ヨーロッパ各地で歓待を受け、彼らに関する出版物も多数発行されている。
- 使節はヨーロッパから活版印刷機や海図などの先端技術を持ち帰った。

## 関連する物語

小説「ローマを見た・天正少年使節」  
 小説「遙かなるローマ」  
 映画「アジアの瞳」

## 観光情報

天正遣欧少年使節顕彰之像  
 高屋温泉  
 都於郡城址

中浦ジュリアン生家跡  
 千々石ミゲルの墓  
 伊東マンショ肖像画

## 51) キリシタン弾圧

(歴史)

## 物語の概要

- 1587(天正15)年、秀吉が「バテレン追放令」を発し、1597(慶長2)年、長崎で26聖人が処刑された。
- キリシタン弾圧は徳川幕府へと引き継がれ、1622(元和8)年の元和の大殉教のほか、多くの殉教者、棄教者を生んだ。
- 長崎では、改宗を迫られたキリシタンが雲仙地獄へ連れて行かれ殉教したと伝えられる。途中改宗を迫り、耳を切り落とした場所「耳採り」も地名として残る。
- 26聖人、トマス西と15殉教者などが列聖、列福されたのに続き、本年11月ペトロ岐部と187殉教者が長崎で列福される。

## 関連する物語

伝記「ペトロ岐部カスイ神父」  
 小説「沈黙」  
 歴史 二十六聖人殉教  
 歴史 アグネスの悲劇

## 観光情報

キリシタン史跡公園  
 耳採  
 二十六聖人の碑

二十六聖人上陸の碑  
 時津街道  
 雲仙地獄

## 52) 天草・島原の乱

(歴史)

### 物語の概要

1. 1637(寛永14)年10月25日～1638(寛永15)年2月28日。
2. 関ヶ原の戦い後、天草は重い年貢に苦しめられ、更に全国的なキリシタン弾圧が始まる。1634(寛永11)年、全国的な大凶作となった中でも、年貢の取り立ては厳しく、キリシタンの探索・弾圧も容赦なく行われた。幕府の禁教令から25年後の1637(寛永14)年小西家の浪人などを中心に、天草と島原の農民たちが蜂起した。一揆の総大将は天草四郎時貞。島原・天草の男女3万7千人が原城にて立てこもり、十万余の幕藩軍事力と123日間にわたって戦った。

### 関連する物語

小説「アニマの鳥」  
小説「奇蹟―風聞・天草四郎」  
小説「魔界転生」

### 観光情報

本渡歴史民俗資料館  
天草四郎メモリアルホール  
天草ロザリオ館

サンタマリア館  
天草コレジオ館  
島原城  
島原温泉

## 53) 出島(長崎奉行)

(歴史)

### 物語の概要

1. 1636(寛永13)年完成。
2. 扇形の人工島。最初はポルトガル人を住まわせていたが、3年後にポルトガルとの通商を禁止した。そこで幕府は1641(寛永18)年、三浦按針の招きにより交易を始め、それまで平戸の商館にいたオランダ人を移住させた。
3. 1859(安政6)年に開国するまでの218年間、出島は日本と西欧を結ぶ唯一の経済、文化の交流の拠点となった。商館医であるシーボルトなどにより、蘭学の発展に貢献した。
4. 長崎奉行は、豊臣秀吉が任命したことに始まり、徳川幕府時代は外交・通商および司法事務を管掌し、出島を管理した。1808(文化5)年、フェートン号事件に際し、奉行松平康平は自害した。

### 関連する物語

小説「航海者 三浦按針の生涯」  
テレビドラマ「長崎奉行」  
小説「夢暦 長崎奉行」  
伝記 シーボルト

### 観光情報

出島和蘭商館跡  
出島史料館  
長崎歴史文化博物館  
シーボルト記念館

三浦按針の墓  
長崎市観光ボランティア  
平戸和蘭商館跡

## 54) 隠れキリシタン

(歴史)

### 物語の概要

1. 1614(慶長18)年～1873(明治6)年の禁教。
2. 江戸時代に江戸幕府(徳川家光)によるキリシタン禁止令の後、強制改宗により仏教を信仰していると見せかけキリスト教を偽装棄教したキリスト教信者である潜伏キリシタンと、1873(明治6)年、禁教令が解かれ潜伏する必要がなくなっても、江戸時代の秘教形態を守りカトリックに戻らない信仰者であるカクレキリシタンの両者を特に区別せず指す。
3. 島原の乱後、寺請制度、絵踏等による宗門改制度が確立し、司祭がいない中、オラシヨを唱え、聖具を秘蔵し、子に洗礼を授けるなどにより、潜伏キリシタンとしての信仰が守られた。
4. 長崎県などには、キリスト教の原形をとどめないきわめて日本的な俗信と化したためカトリックに復帰できず、数は減少しながらも今なお独自の信仰様式を継承しているカクレキリシタンが存在している。

### 関連する物語

小説「カクレキリシタン」

### 観光情報

オラシヨ  
枯松神社  
生月観音

平戸市生月町博物館  
五島列島  
外海町

### 55) 薩摩藩英国留学生

(歴史)

#### 物語の概要

- 1865(慶応元)年3月、串木野を出航。
- 1863(文久3)年、前年の生麦事件の賠償金をめぐり、薩英戦争が起こった。この薩英戦争により西洋の実力への衝撃を受けた薩摩藩は、五代友厚の上申書を受け入れ、島津斉彬の意志を継いで欧米への留学生派遣を実現させた。
- 町田久成、村橋久成、森有礼、畠山義成ら留学生と視察員あわせて19名は英国貿易商グラバーが用意した蒸気船オーストライエン号によって、鎖国令を破り、渡航した。

#### 関連する物語

歴史 薩英戦争  
伝記 島津斉彬

#### 観光情報

若き薩摩の群像  
薩摩藩英国留学生渡欧の地  
尚古集成館

鹿児島県歴史資料センター「黎明館」  
維新ふるさと館  
仙巖園

### 56) キリスト教復教

(歴史)

#### 物語の概要

- 1864(元治元)年に大浦天主堂が完成。翌1865(慶応元)年2月17日ジラルド教区長により「日本26聖人殉教者天主堂」と命名。
- 1ヶ月後の3月17日、当時「フランス寺」と呼ばれていた天主堂には西洋風の建物を見ようと見物人が大勢いた。その客にまぎれて浦上のキリシタンたちがやって来て、自分の信仰を告白した。プチジャン神父は大喜びで彼らをマリア像の前に導いた。これが世界宗教上の奇跡と呼ばれた信徒発見である。
- その後、浦上四番崩れ、五島崩れなどの弾圧事件が生じるが、禁教が解かれた後、出津のド・ロ神父、天草のガルニエ神父などにより教会が多く建設された。

#### 関連する物語

歴史 大浦天主堂  
伝記 プチジャン神父  
伝記 ガルニエ神父

#### 観光情報

大浦天主堂  
プチジャン神父像  
信徒発見のマリア像

日本の聖母像  
26聖人殉教の地  
長崎・天草の教会群

### (3) 記紀・神話・いにしえの世界

### 57) 天孫降臨神話

(神話、記紀)

#### 物語の概要

- 国つくり神話。「古事記」「日本書記」にも記述。
- 神々が生まれた後も、長く地上の世界である「葦原の中つ国(あしはらのなかつくに)」を治める神がいなかった。そこでアマテラスに命じられた孫のニニギノミコトが地上の世界を治めることとなり、地上へと降りてこられたと言われる。天孫降臨神話は、高千穂の二上峰に降り立ったとする高千穂町の話と、「日向のくし日の高千穂の峰」に降り立ったとする高原町の話が伝わっているが、いずれも神話に因んだ地名である。

#### 関連する物語

歴史「古事記」  
歴史「日本書記」  
神話・民話「海幸・山幸神話」  
神話・民話「イザナギ・イザナミの国生み神話」

#### 観光情報

高天原遙拝所(高千穂町)  
霧島東神社(高原町)  
天の逆鉾(高原町)

二上神社・くしふる神社・みるく田(高千穂町)  
三ヶ所神社(五ヶ瀬町)  
高千穂町観光ガイド

## 58) 天の岩戸神話

(神話、記紀)

## 物語の概要

1. 国つくり神話。「古事記」「日本書紀」にも記述。
2. 高天原を治めていたアマテラスの元にやって来たスサノオは手が付けられない暴れ者だった。ある日スサノオの悪戯で織女が死んでしまう事件が起きると、怒って天の岩屋に入り岩戸を閉じてしまう。日の神アマテラスがお隠れになったので、世界は真っ暗闇になってしまい、困った神々は天の安河原に集まり打開策を検討。アメノウズメが踊る回りで神々が楽しく騒ぎ立て、アマテラスが何の騒ぎかとお顔を出したところを岩屋から引っ張り出すこととした。タジカラオがアマテラスを岩やから引っ張り出すと、この世に再び日の光が戻った。スサノオは高天原を追われ地上界へと追放される。

## 関連する物語

神話・民話「天孫降臨神話」  
神話・民話「イザナギ・イザナミの国生み神話」

## 観光情報

天の安河原(高千穂町)	高天原遙拝所(高千穂町)
天の岩戸神社(高千穂町)	二上神社
高千穂町観光ガイド	くしふる神社

## 59) 神功皇后

(記紀、伝記)

## 物語の概要

1. 170(成務40)年～269(神功69)年4月17日没。
2. 『日本書紀』では氣長足姫尊(おきながたらしひめのみこと)、『古事記』では息長帯比売命(おきながたらしひめのみこと)。神功皇后は古墳時代の皇族。
3. お腹に子供を妊娠したまま海を渡り、朝鮮半島に出兵して新羅の国を攻め、新羅は戦わずして降服した。
4. 航海の際、お腹に月延石や鎮懐石と呼ばれる石をあてて出産を遅らせた。月延石は3つあったとされ、それぞれ長崎県の壱岐市、京都市の月読神社と福岡県二丈町の鎮懐石八幡宮に奉納されたと言われる。その帰路、福岡県の宇美で出産し、志免でおしめを代えたと伝えられる。その他、長崎県壱岐市の湯ノ本温泉で産湯をつかわせたなど、九州に縁の深い人物であったと推測される。

## 関連する物語

神話・民話「天孫降臨神話」  
神話・民話「天の岩戸神話」  
小説「女龍王神功皇后」

## 観光情報

月読神社(長崎県壱岐市)	御手洗さん(植木町)
湯ノ本温泉(長崎県壱岐市)	姉子の浜鳴き砂(福岡県二丈町)
宇美八幡宮	猿岩(長崎県壱岐市)

## 60) 吉野ヶ里遺跡

(歴史)

## 物語の概要

1. 我が国最大の弥生時代遺跡で、国の特別史跡。
2. 有柄銅剣やガラス製管玉等の出土品は国の重要文化財に指定。1986(昭和61)年から現在に至るまで発掘調査が行われている。
3. 調査によると、弥生時代前期初頭に小規模な環壕集落が丘陵南端に形成され、前期には3ha、中期には推定20ha超、後期には40haを超す大規模な環壕集落へと発展している。

## 関連する物語

歴史  
後漢書東夷伝・魏志倭人伝  
歴史 邪馬台国伝説

## 観光情報

吉野ヶ里歴史公園	九年庵
水車の里・遊学館	仁比山神社
吉野ヶ里遊学館	伊東玄朴旧宅



## 6 1 ) 邪馬台国伝説

( 歴史 )

### 物語の概要

1. 邪馬台国(やまたいこく)は、「魏志倭人伝」に出てくる国。邪馬台国の卑弥呼が239(景初3)年魏に朝貢。「親魏倭王」の金印と鏡を授けたとされる。弥生時代の2～3世紀に、日本にあったと推定されている。女王が治めていたことから魏志倭人伝では女王国とも記されている。
2. 邪馬台国の位置については、倭人伝の陸行、水行の解釈から現在に至るまで九州説と畿内説の両説があり対立している。特に九州説は畿内説における纏向遺跡のような有力な具体的候補地はまだなく、福岡県の太宰府天満宮、山門、大分県の宇佐神宮、宮崎県の西都原古墳群など、九州各地に、それぞれ近辺を都とする諸説が乱立している。

### 関連する物語

歴史 魏志倭人伝  
小説「まぼろしの邪馬台国」  
歴史 吉野ヶ里遺跡  
小説「邪馬台国五文字の謎」

### 観光情報

福岡県 - 山門郡瀬高町、博多一帯  
佐賀県 - 筑紫平野  
熊本県 - 菊池郡山門、阿蘇郡  
大分県 - 宇佐、中津  
長崎県 - 島原半島、東彼杵郡  
宮崎県 - 西都原、西都市  
鹿児島県 - 薩摩、大隅  
ほか多数

## 6 2 ) 松浦佐用姫伝説

( 伝説 )

### 物語の概要

1. 宣化天皇(在位535<安閑天皇2>年～539<宣化天皇4>年)の時代、新羅を討つように命ぜられた大伴狭手彦は、兵を率いて松浦の里の篠原村(現在の唐津市厳木町笹原峠)に滞在した。村の長者の娘に弟目姫子(佐用姫)という素朴な美しい乙女がいた。狭手彦は、佐用姫に心引かれ、佐用姫も心から愛を捧げ、楽しい日々が続いた。しかし、とうとう狭手彦に船出の日が来た。夫を慕う姫の一念は、夫の船影を追い求め鏡山に上り、衣の領布(ひれ)を振り名残を惜しんだ。さらに松浦川を渡り、呼子の浦まで追いつき、果てに加部島へと渡り、小高い丘に登ったが既に船影はなかった。悲しみにうちひしがれた佐用姫は、精根枯れて打ち伏し、そのまま石になってしまったと伝えられる。

### 関連する物語

小説「佐用姫伝説殺人事件」

### 観光情報

鏡山・佐用姫像  
加部島(田島神社)  
道の駅厳木(佐用姫の像)  
佐用姫岩(松浦川河口)  
七ツ釜  
姫小路

## 6 3 ) 大宰府

( 歴史 )

### 物語の概要

1. 『日本書紀』に7世紀を通じてみられる筑紫大宰がその前身である。白村江の戦いを経て、律令制の整備にともなって筑紫大宰は九州地区の統治組織「大宰府」となった。大宰府は、国防、外交の機能を有し、政庁を中心に「遠のみかど」と称する都市が形成された。
2. 太宰府天満宮に祀られている菅原道真是幼少のころから学問・書・詩文など多くの業績を残した。また、遣唐使に任命されたが、唐の国情不安などを理由に遣唐使停止を建議し、唐に渡ることはなかった。政治家としても右大臣にまで昇任するが、突然大宰府に左遷され、2年後に亡くなり、門弟の味酒安行によって埋葬された。
3. 観世音寺には国宝の梵鐘があり、大宰府政庁跡は国指定特別史跡になるなど数多くの名所となっている。

### 関連する物語

歴史 防人  
歴史「日本書紀」  
伝記 菅原道真  
歴史 「鴻臚館」

### 観光情報

太宰府天満宮  
大宰府政庁跡  
竈門神社  
水城  
観世音寺  
九州国立博物館  
古都太宰府保存協会

## 64) 平家落人伝説

(伝説)

### 物語の概要

1. 伝説によると、1185(寿永4)年の壇ノ浦の戦いで敗れた平家一族は四国を経て由布院に逃れ、山賊の案内で白鳥山(樅木)に入った。源氏の追討を逃れた左中将平清経は姓を緒方と改名。その子孫、盛行がこの地に住み着いたといわれており、五本の矢を射て5つの集落(仁田尾、樅木、椎原、葉木、久連子)に住居を決めたことから、「五家荘」と呼ばれるようになった。
2. 五家荘には、平家物語で扇の的を射抜いた那須与一の息子と、的を持っていた鬼山御前が追討の末に出会い恋に落ちたという言い伝えがある。保口地区には鬼山御前の墓と石碑が残っている。

### 関連する物語

歴史「平家物語」  
神話・民話「那須大八郎と鶴富姫の恋の物語」

### 観光情報

福岡県: お蝶ヶ淵之跡の碑  
佐賀県: 山内町  
長崎県: 対馬  
熊本県: 平家の里・平家伝説館

大分県: 九重、大祖山  
宮崎県: 椎葉村 十根川地区  
鹿児島県: 三島村、瀬戸内町  
ほか 多数

## 65) かつば伝説

(伝説)

### 物語の概要

1. 河童渡来伝説
2. 昔、河童は中央アジアに住んでいたが、ある時二手に分かれ、一方は中央ヨーロッパへ行き、もう一方は中国大陸を経て八代に上陸して球磨川へ移り住んだと言われ、八代市は日本で最初に河童が伝来した地と伝えられている。
3. その後、球磨川の河童は筑後川に移ったなど、九州には数多くの河童にまつわる民話が残されている。

### 関連する物語

伝記 火野葦平  
小説「河童曼荼羅」火野葦平  
小説「九州河童紀行」

### 観光情報

河童渡来の碑(八代市)  
久留米市田主丸町に河童像多数  
水天宮(久留米市)

天疫神社(門司区)  
筑後川カッパ館  
福岡、佐賀、長崎の各地にカッパのミラや手が伝えられている

## (4) 武士の時代

## 66) 黒田如水

(伝記、戦国大名)

### 物語の概要

1. 1546(天文15)年~1604(慶長9)年没。
2. 忌み名(本名)は孝高(よしたか)。通称官兵衛。如水は隠居出家後の号。姫路出身。豊前國中津城主。
3. 戦国時代から江戸時代前期にかけての武将・大名。知略にかけては天才的な手腕を発揮し、姫路城代から織田信長臣下、秀吉側近となった。しかし秀吉にとっては彼の智謀こそが最も恐ろしく、そのため他の臣下よりも低い扱いにし、領地も自分から遠い豊前國中津城を与えた。
4. 福岡に築城した長政に家督を譲った後も、関ヶ原の合戦時に九州各地に侵攻、勝利した。

### 関連する物語

小説「播磨灘物語」  
小説「黒田如水」  
小説「二流の人」  
小説「軍師の境遇」

### 観光情報

福岡城址  
大濠公園  
友泉亭

横嶽山崇福寺  
和菓子店「五十二万石如水庵」  
博多百年蔵

## 67) 加藤清正

(伝記、戦国大名)

## 物語の概要

1. 1562(永禄5)年~1611(慶長16)年没。
2. 尾張国愛智郡中村出身。肥後熊本藩初代藩主。
3. 加藤清忠の嫡男として生まれる。豊臣秀吉に仕え肥後を領地としていた。幾多の実践を経て、百戦錬磨の功を積み、賤ヶ岳の七本槍や京城の一番乗りなど、その武勲は数え切れない。清正は名将であっただけでなく、土木治水に関して手腕を発揮し、領民の信望を集めた。

## 関連する物語

小説「加藤清正」  
 小説「火の国の城」  
 映画「あずみ」  
 伝記 小西行長

## 観光情報

熊本城  
 本妙寺(熊本市花園)  
 加藤神社(熊本市本丸)

石叅萩原堤、はげ塘、前川堤  
 鼻ぐり井手馬場楠井手(白川)  
 清正公まつり

## 68) 島津義弘

(伝記、戦国大名)

## 物語の概要

1. 1535(天文4)年~1619(元和5)年没。
2. 日置市吹上町伊作出身。島津家の17代当主。
3. 島津貴久の子。忠良・貴久や兄の義久らとともに薩摩、大隅、日向の三州統一に働いた優れた武将。
4. 三州統一の後、九州制覇に乗り出して、豊後の大友氏を追い詰めたが豊臣秀吉に敗れる。1597(慶長2)年の朝鮮出兵で大功を立て、関ヶ原の合戦では西軍の敗色が濃厚になったため、敵中突破して帰郷した。伊集院の妙円寺(今の徳重神社)に祀られ、妙円寺詣りが今も行われている。

## 関連する物語

小説「朝鮮の役」

## 観光情報

尚古集成館  
 仙巖園  
 島津義弘公像

徳重神社  
 維新ふるさと館  
 鹿児島県歴史資料センター「黎明館」

## 69) 武王の門

(小説)

## 物語の概要

1. 北方謙三著。1989(平成元)年刊。
2. あらすじ: 足利幕府の勢力が全国を席卷しつつあり、その力は九州まで及ぼうとしていた。九州探題を置いた幕府だが、反対勢力たちの存在もままならなかった。牧宮(懐良)が率いる征西軍(南朝)もその反対勢力の一つだった。九州を統一し、足利幕府とはまったく違う新しい国を造ること。それが懐良の夢であった。後に無双の強さを誇る武将へと成長する菊池武光の登場により物語が加速する。

## 関連する物語

漫画・アニメ「風雲菊池一族」

## 観光情報

聖護寺  
 菊池神社  
 將軍木

松囃子能場  
 武光公の墓  
 武重公の墓

## 70) 宮本武蔵

(伝記、剣術家)

## 物語の概要

- 1584(天正12)年～1645(正保2)年5月19日没。
- 本名、新免武蔵守 藤原玄信。出身は播磨説、美作説あり。
- 10代にして兵法、武道を志し、13歳の時初めて新当流の有馬喜兵衛と勝負をして勝ち、以来29歳の頃までに60回を超える勝負に挑み一度も敗れなかったという。武蔵と名乗ようになったのは17歳の頃からだった。佐々木小次郎を破った「巖流島の戦い」は有名。
- 1640(寛永17)年熊本城主・細川忠利に招かれ熊本に移住。晩年を熊本で過ごした。

## 関連する物語

小説「宮本武蔵」  
 漫画・アニメ「バカボンD」  
 テレビドラマ「武蔵(MUSASHI)」  
 歴史・伝記「剣豪 丸目蔵人佐」  
 小説「薩南示現流」

## 観光情報

宮本武蔵の碑  
 武蔵小次郎祭り  
 雲巖禅寺  
 島田美術館

武蔵塚公園  
 小倉城  
 熊本城

## 71) 葉隠

(書物)

## 物語の概要

- 肥前国鍋島藩藩士、山本常朝著。1716(享保元)年頃刊。全11巻。
- 武士としての心得について見解を「武士道」という用語で説明した言葉を田代陣基が筆録した記録である。
- 「我が身を主君に奉り、すみやかに死に切って幽霊となりて二六時中主君の御事を嘆き」云々、没我的な主従道徳を鼓吹した。「武士道と云ふは死ぬ事と見付けたり」の文言は有名。
- 佐賀鍋島藩に関しては、「佐賀の夜桜猫化け騒動」や、「肥前の妖怪」(司馬遼太郎著)と多くの物語を有している。

## 関連する物語

小説「葉隠入門」  
 小説「死ぬことと見付けたり」  
 伝記 鍋島直正  
 講談・歌舞伎「佐賀の夜桜猫化け騒動」  
 小説「肥前の妖怪」

## 観光情報

葉隠発祥の地  
 常朝先生垂訓碑  
 宝琳院

勝妙寺  
 佐賀市歴史民俗館  
 佐賀城本丸歴史館

## 72) 広瀬淡窓

(伝記、学者)

## 物語の概要

- 1782(天明2)年4月11日～1856(安政3)年11月1日没。
- 大分県日田市出身。
- 日田・長福寺学寮に創設した私塾咸宜園には、全国から向学の想いに燃ゆる青年達が集まった。その数多い時で180名、淡窓一代の入門者総数は4,610名を数えた。75歳で没するまでの50年間、大村益次郎や高野長英など優秀な人材を多数輩出した。
- 帆足万里、三浦梅園と並ぶ豊後の三賢人と呼ばれている。

## 関連する物語

伝記 帆足万里  
 伝記 三浦梅園

## 観光情報

咸宜園  
 桂林荘公園  
 広瀬資料館  
 日田祇園

長福寺  
 長生園  
 豆田の町並み  
 日田温泉郷

## 73) 恩讐の彼方に

(小説)

## 物語の概要

1. 菊池寛著。1919(大正8)年1月刊。
2. あらすじ:江戸時代後期に、豊前国(大分県)の青の鎖渡し(現本耶馬溪)の難所で通行人が大変難儀するのをみて、この地に安全な道をつくるため、30年の歳月をかけて青の洞門を開削した禅海和尚の生涯を描いた菊池寛の小説。
3. 作者によって三幕の戯曲『敵討以上』に改作。

## 関連する物語

映画「青の洞門」

## 観光情報

青の洞門  
羅漢寺  
競秀峰

溪石園  
深耶馬溪  
奥耶馬溪

## 74) 肥後の石工

(小説)

## 物語の概要

1. 今西祐行著。歴史小説。1965(昭和40)年刊。
2. あらすじ:熊本県砥用町に今も健在する「霊台橋」。この美しい石橋は、東陽町主審の石工岩永三五郎の指導の下に、石工・大工・庄屋・百姓が協力して築いたものである。悲しく辛い過去とたたかいながら、肥後の石工の技術を弟子達に伝えた石工頭三五郎の物語。

## 関連する物語

伝記 橋本勘五郎  
伝記 岩永三五郎

## 観光情報

東陽石匠館  
石橋公園  
笠松公園

東陽交流センター せせらぎ  
石橋案内人  
霊台橋

## (5) 幕末・明治維新

## 75) 島津斉彬

(伝記、幕末大名)

## 物語の概要

1. 1809(文化6)年~1858(安政5)年没。
2. 江戸薩摩藩邸(東京都港区)生れ。28代当主。
3. 曾祖父重豪に寵愛され、世界的な視野と進んだ学問見識をもっていた。重豪に似て藩の経済を脅かすのではないかという不安や異母弟久光擁立派の思惑から40歳を過ぎて薩摩藩主になったが、日本の最先端技術を集めた集成館事業に見られるような進歩的な富国強兵策や、幕府への強い政治力など、三百諸侯の中でも優れた藩主と言われた。

## 関連する物語

小説「翔ぶが如く」  
伝記 島津久光  
歴史 集成館事業  
小説「南国太平記」

## 観光情報

尚古集成館  
仙巖園  
照国神社  
鶴丸城跡

島津斉彬公像  
玉里庭園  
維新ふるさと館  
福昌寺跡

## 76) 亀山社中

(歴史)

## 物語の概要

- 1865(慶応元年)年。
- 長崎で坂本竜馬が自分たちの理想を実現させるための結社を創った。これが日本最初の商社「亀山社中」。
- 徳川幕府の倒幕を目的とした活動を行うとともに、当時貴重だった蒸気船運用の技術を活かして、船の回送、船による人員・物資の運搬などの運輸業、軍艦・銃器の購入・斡旋などの商業活動をしていた。
- 1867(慶応3)年、亀山社中は土佐藩に付属することになり、「海援隊」と改名。
- 同じ頃、福岡では野村望東尼が高杉晋作、平野国臣などの勤王の志士達を庇護し、野村望東尼山荘は一時期志士達の隠れ家になっていたという。

## 関連する物語

伝記 野村望東尼  
 詩歌「我胸の燃ゆる思ひにくらぶれば  
 煙はうすし桜島山」  
 小説「竜馬がゆく」

## 観光情報

亀山社中跡  
 竜馬通り  
 竜馬のブーツ像  
 風頭公園  
 眼鏡橋  
 長崎市ボランティア観光ガイド

## 77) 翔ぶが如く

(小説、テレビドラマ)

## 物語の概要

- 小説 司馬遼太郎著。1972(昭和47)年1月～1975(昭和50)年9月、毎日新聞に連載後、1975(昭和50)年～1976(昭和51)年、文藝春秋から刊。全7巻。テレビドラマ 1990(平成2)年、NHK大河ドラマ。
- あらすじ: 明治維新とともに出発した新しい政府は、内外に深刻な問題を抱え絶えず分裂の危機を孕んでいた。1873(明治6)年、長い間くすぶり続けていた不満が爆発した。西郷隆盛が主唱した「征韓論」は、国の存亡を賭けた抗争にまで沸騰してゆく。征韓論から、西南戦争の結末まで新生日本を根底からゆさぶった、激動の時代を描く長篇小説。大河ドラマでは、幕末維新の西郷や大久保の若年時代から描かれる。

## 関連する物語

伝記 西郷隆盛  
 歴史 西南戦争  
 伝記 大久保利通

## 観光情報

田原坂公園  
 植木町田原坂資料館  
 南洲墓地、南洲神社  
 西郷洞窟跡  
 薩英戦争砲台跡  
 西郷銅像(城山)  
 維新ふるさと館  
 西郷南洲顕彰館

## 78) 天璋院篤姫

(小説、テレビドラマ)

## 物語の概要

- 小説 宮尾登美子著 1984(昭和59)年刊。テレビドラマ 2008(平成20)年、NHK大河ドラマ「篤姫」。
- あらすじ: 幕末、薩摩藩・今和泉島津家、島津忠剛の姫として生まれ、薩摩藩主、斉彬の養女になり、13代将軍家定の御台所となる篤姫の生涯を作品にしたもの。江戸城無血開城に至るまで力を尽くしたとされる。

## 関連する物語

伝記 光蘭院貞姫  
 小説「波瀾の青春」

## 観光情報

今和泉島津家別邸跡  
 鶴丸城跡  
 今和泉島津家本邸跡  
 小松帯刀屋敷跡  
 尚古集成館  
 篤姫館、いぶすき篤姫館  
 今和泉島津家墓地  
 観光ボランティア組織「篤姫観光ガイド会」

## 79) 江藤新平

(伝記、政治家)

## 物語の概要

- 1834(天保5)年3月18日～1874(明治7)年4月13日没。
- 本名、平胤雄(たいらの たねお)。佐賀藩士、政治家。
- 薩摩藩の西郷隆盛と幕臣の勝海舟の会談で江戸城の無血開城が決定すると、江藤は城内の文書類を接收する。さらに江藤は京都へ戻り、大木喬任と連名で岩倉に対して江戸(東京)への遷都を献言する。1870(明治3)年11月に太政官中弁となる。
- 1874年(明治7)年 佐賀征韓党首領となり、佐賀の乱が起こる。乱は大久保利通率いる政府軍に短期間のうちに敗れ敗走、現在の高知県で捕縛。処刑・梟首された、享年41。

## 関連する物語

小説「歳月」  
 小説「司法卿 江藤新平」  
 小説「神風連」

## 観光情報

万部島  
 江藤新平生誕地  
 江藤新平の墓  
 佐賀城本丸歴史館  
 神野公園(銅像)  
 佐賀城本丸ボランティアガイド

## 80) 西南戦争

(歴史)

## 物語の概要

- 1877(明治10)年1月～9月。
- 1874(明治7)年、西郷隆盛は薩摩に教育機関「私学校」を設立。この私学校生徒が政府のやり方に不満を持ち、政府の火薬庫を襲った。ここに西南戦争が始まり、1877(明治10)年2月22日、熊本城総攻撃となった。
- 政府軍は田原坂と吉次峠に猛攻撃をかけ、17日間にわたる激闘を展開した。
- 西郷軍は鹿児島に帰還、城山により徹底抗戦を続けたが、9月24日政府軍5万が総攻撃、西郷軍を壊滅させた。

## 関連する物語

伝記 西郷隆盛  
 小説「翔ぶが如く」  
 歌謡・民謡「田原坂」

## 観光情報

史跡 田原坂公園  
 熊本城とその周辺  
 高瀬の会戦  
 田原坂公園ボランティアガイド  
 山鹿口の戦跡  
 八代  
 人吉  
 五木  
 西郷洞窟  
 西郷南洲顕彰館  
 南洲墓地、南洲神社

## (6) 近代化・産業化

## 81) 集成館事業

(歴史)

## 物語の概要

- 1851(嘉永4)年～1863(文久3)年。
- 薩摩藩主となった島津斉彬は富国強兵・殖産興業政策を推し進め、鹿児島市郊外の磯に大砲を造るための反射炉をはじめ、溶融炉、硝子窯など多くの設備を備えた近代洋式工場群を築いた。これらの工場群はのちに「集成館」と命名され、集成館でおこなわれた様々な事業を総称して「集成館事業」と呼ぶ。
- 1858(安政5)年、斉彬が急逝すると、一時「集成館」は縮小されるが、薩英戦争を契機としてその意義が見直され、機械工場、鹿児島紡績所を建設するなど日本の近代化に貢献した。

## 関連する物語

歴史書「尚古集成館」  
 小説「天璋院篤姫」  
 歴史 近代化遺産

## 観光情報

尚古集成館  
 維新ふるさと館  
 仙巖園  
 関吉の疎水溝跡  
 島津斉彬公像  
 鶴丸城跡  
 磯工芸館

## 82) 福沢諭吉

(伝記、教育者)

### 物語の概要

- 1835(天保5)年1月10日～1901(明治34)年2月3日没。
- 慶応義塾の創設者。思想家、教育者。中津藩の下級武士の子として生まれ、19才まで中津で過ごす。青年期は長崎、大阪に遊学し蘭学を学ぶ。その後、慶應義塾のもととなる塾を東京・築地の中津藩邸内に開く。また英学を独習し、3度欧米に渡る。

### 関連する物語

小説「学問のすゝめ」  
小説「小説福沢諭吉」

### 観光情報

福沢旧居  
薦神社  
中津城  
自性寺大雅堂

蓬萊園  
大雅堂

## 83) 大隈重信

(伝記、教育者)

### 物語の概要

- 1838(天保9)年3月11日～1922(大正11)年1月10日没。
- 早稲田大学の前身、東京専門学校の創設者。佐賀藩士の子として生まれ、佐賀藩蘭学寮、同弘道館、同致遠館の教授を勤める。維新後、参議、大蔵卿、その後立憲改進黨を創設。外務大臣、総理大臣を歴任した。

### 関連する物語

小説「円を創った男 小説・大隈重信」  
小説「風雲の人 小説・大隈重信青春譜」

### 観光情報

大隈記念館  
大隈重信の墓  
佐賀城本丸歴史館

## 84) 八幡製鐵所と長崎造船所

(歴史)

### 物語の概要

- 八幡製鐵所 わが国初の近代的製鐵所として、1897(明治30)年に福岡県八幡村(現北九州市八幡東区)に誕生。1901(明治34)年から操業を開始した。大陸からの鉄鉱石、筑豊の石炭と原材料の供給に恵まれ、しだいに規模を拡大。日本の近代化・工業化を根底から支えた。
- 長崎造船所 大型船造修所建設の必要性を痛感していた、長崎海軍伝習所の初代所長・永井玄蕃頭尚志は、職権で建設を決断。オランダに発注し、1861(文久元)年、日本初の本格的洋式工場「長崎製鐵所」が竣工した。官営長崎造船局を経て1884年(明治17)年三菱長崎造船所となる。造船王国日本の中核として今日に至る。

### 関連する物語

小説「この天の虹」  
歴史 近代化遺産

### 観光情報

新日鐵(株)八幡製鐵所  
スペースワールド  
いのちのたび博物館

三菱重工「長崎造船所」資料館  
長崎造船所  
グラバー園



## 85) 九州の炭坑王

(実業家)

### 物語の概要

1. 九州には高島、三池、筑豊などの産炭地域に数多くの炭坑があった。
2. その炭鉱の開発は、三井の団琢磨のほか、高取伊好、伊藤伝右衛門、蔵内次郎作、「筑豊御三家」と言われる麻生太吉、貝島太助、安川敬一郎など炭鉱王といわれる人々の力によるところが大きい。炭鉱の開発のみならず、地域や文化の発展に貢献した。
3. 産炭地域の発展は、労働者の集積や鉄道、港湾の整備をもたらし、経済、生活、文化の発展をみた。炭鉱節はその文化の象徴。

### 関連する物語

伝記 高取伊好  
 伝記 伊藤伝右衛門  
 伝記 筑豊御三家(麻生、貝島、安川)  
 伝記 蔵内次郎作  
 歴史 万田坑  
 歌謡・民謡 炭坑節

### 観光情報

旧高取邸  
 旧伊藤伝右衛門邸  
 いぶき館  
 直方市石炭記念館  
 平成筑豊鉄道・筑豊本線  
 旧蔵内家住宅  
 嘉穂劇場  
 田川市石炭・歴史博物館  
 大牟田市石炭産業科学館  
 万田坑  
 宮原坑跡

## 86) 柳原白蓮

(歌人)

### 物語の概要

1. 1885(明治18)年10月15日～1967(昭和42)年2月22日没。
2. 本名、燐子(あきこ)。東京都出身。
3. 伯爵柳原前光の非嫡出子として生れる。大正天皇の従姉妹。25歳で九州の炭鉱王、伊藤伝右衛門と再婚。
4. 佐々木信綱の門下生となり、歌人として注目を集める。その後、出奔し、生涯を宮崎龍介とともにし、穏やかさと、強さを秘めた女性として今も根強いファンを持つ。

### 関連する物語

小説「白蓮れんれん」  
 小説「真珠夫人」  
 小説「恋の華 白蓮」  
 小説「麗人」  
 伝記 伊藤伝右衛門

### 観光情報

旧伊藤伝右衛門邸  
 飯塚歴史資料館  
 宮崎兄弟資料館  
 ボランティアガイド「さきの会」  
 麻生大浦荘  
 嘉穂劇場  
 旧高取邸  
 いぶき館(東峰村)  
 九兵衛茶屋(日田市)  
 定期観光バスツアー

## (7) 戦争と昭和の時代

## 87) ホタル

(映画)

### 物語の概要

1. 降旗康男監督。高倉健主演。2001(平成13)年公開。
2. あらすじ:余命わずかの妻を支える元特攻隊員の男…。幾つもの傷を心に背負い、時代に翻弄されながらもひたむきに生きる一組の夫婦をやさしい眼差しで描いている。
3. 知覧ほか九州南部は航空特攻隊の基地となり、多くの悲しくも心ゆさぶる物語を有する。

### 関連する物語

映画「俺は、君のためにこそ死ににいく」  
 映画「月光の夏」  
 伝記 高倉健

### 観光情報

垂水市海潟漁港(夫婦のテーブル)  
 知覧特攻平和会館  
 富屋旅館  
 道の駅たるみず  
 知覧武家屋敷群  
 映画「ホタル」ロケ地記念碑  
 高峠つつじヶ丘公園  
 猿ヶ城溪谷

## 88) 男たちの大和 / YAMATO

(小説、映画)

### 物語の概要

1. 佐藤純哉彌監督。反町隆、中村獅童主演。2006(平成18)年公開。原作は辺見じゅん、小説「男たちの大和」。
2. 終戦60周年を記念して制作された戦争映画。菊水作戦における戦艦大和の乗組員の生き様を描いた作品。
3. あらすじ: 1941(昭和16)年に極秘裏に完成した「世界最大最強の戦艦」大和。3300余名の男たちが戦艦大和と共にアメリカ軍艦載機との壮絶な戦いが待ちうける決戦の海へと向かった。
4. 戦争末期の特攻作戦の悲劇であるが、このほかにも回天による海上特攻の多くの物語がある。

### 関連する物語

小説「出孤島記」  
歴史 人間魚雷 回天

### 観光情報

枕崎漁港  
平和祈念展望台  
火之神公園・キャンプ場

薩摩酒造 文化資料館「明治蔵」  
坊津町歴史資料センター輝津館  
文化資料センター南浜館

## 89) 長崎の鐘

(映画、歌)

### 物語の概要

1. 映画 大庭秀雄監督。若原雅夫主演。1950(昭和25)年公開。歌 サトウハチロー - 作詞。古関裕而作曲。藤山一郎歌唱。1949(昭和24)年の作品。
2. あらすじ: 長崎医大の医師であり、原爆被爆者の永井隆の手記を映画化。原爆の恐ろしさ、被爆地長崎の悲劇を描いた長く記憶に残る社会的作品。白血病に冒されていた永井は被爆によって病状が悪化する中、被爆医療に身をささげる。
3. ロケは1950(昭和25)年7月に長崎で行われ、永井が住む如己堂も撮影された。

### 関連する物語

伝記 永井隆  
歴史 浦上天主堂

### 観光情報

如己堂  
長崎市永井隆記念館  
長崎原爆資料館

長崎平和公園  
浦上天主堂  
長崎歴史文化博物館

## 90) 岩切章太郎

(実業家)

### 物語の概要

1. 1893(明治26)年5月8日～1985(昭和60)年7月16日没。
2. 現・宮崎市の中村町出身。1926(大正15)年に4台のバスで宮崎市街自動車株式会社(現・宮崎交通)を創立。1931(昭和6)年に定期遊覧バスを開始。これが全国に名をはせる観光バスガイドの初登場であり、章太郎の宮崎県観光開発の第一歩となった。
3. 1936(昭和11)年から日南海岸にフェニックスを植栽し、3年後にこどものくにを開園、戦後も橘公園、えびの高原と次々に大地に絵をかく夢を実現、新婚旅行のメッカ、宮崎観光ブームを作った。

### 関連する物語

小説「無尽灯」  
小説「私の岩切さん」  
映画「100万人の娘たち」  
伝記 中村林太郎

### 観光情報

こどものくに  
堀切峠  
サボテン公園

えびの高原  
都井岬  
岩切章太郎像

9 1 ) まぼろしの邪馬台国

( 著作、映画 )

物語の概要

1. 宮崎康平著、ノンフィクション、1967(昭和42)年刊。映画化、堤幸彦監督、吉永小百合、竹中直人主演、2008(平成20)年秋公開。
2. あらすじ:邪馬台国はどこにあったのか。有明海沿岸に古代の夢を馳せる。途中、失明の悲運にみまわれながらも、妻とともに三十余年の辛苦の末にひとつの結論に到達した研究物語である。当時研究者間での話題でしかなかった邪馬台国論争に、専門家以外が参加して論争する先駆けとなった。
3. 宮崎康平は「島原の子守唄」の作者でもある。

関連する物語

伝記 宮崎康平  
 小説「盲目重役」  
 歴史 邪馬台国伝説  
 歴史 後漢書東夷伝・魏志倭人伝  
 歌謡・民謡「島原の子守唄」

観光情報

宮崎康平 石碑  
 福岡県 - 久留米、三井郡、北九州  
 佐賀県 - 筑紫平野  
 熊本県 - 人吉、山鹿、八代  
 大分県 - 別府湾岸、周防灘沖合い  
 長崎県 - 島原半島、東彼杵郡  
 宮崎県 - 日向地方、霧島山周辺  
 鹿児島県 - 薩摩、大隅、鹿児島

(8) 芸術

9 2 ) 有田の三右衛門

( 陶芸家 )

物語の概要

1. 有田の三右衛門とは今泉今右衛門、酒井田柿右衛門、源右衛門のこと。歴代にわたり陶芸術の極を伝える。
2. 今泉今右衛門は江戸時代には鍋島藩の御用赤絵師を務めていた。当代は14代で13代は人間国宝の認定を受けた。
3. 酒井田柿右衛門は初代が乳白色の地肌に赤色系の上絵を焼き付けるといふ柿右衛門様式を確立。当代は14代。
4. 源右衛門窯は民窯として240年前から伊万里の焼き物を手がけていた。

関連する物語

伝記 今泉今右衛門  
 伝記 酒井田柿右衛門  
 伝記 源右衛門  
 歴史 陶工来航

観光情報

今右衛門古陶磁美術館  
 柿右衛門窯  
 源右衛門窯  
 陶山神社  
 有田町ボランティアガイド「色絵」  
 トンバイ堀  
 有田駅(有田焼の陶板が飾られている)  
 有田陶磁器まつり  
 皿山まつり

9 3 ) 辰野金吾博士

( 建築家 )

物語の概要

1. 1854(嘉永7)年8月22日～1919(大正8)年3月25日没。
2. 肥前国唐津の裏坊主町(現・佐賀県唐津市)出身。工部大学校(現・東京大学)ではイギリス人のJ.コンドルに師事。
3. 辰野の作品は東京駅や日本銀行など、全国に三十余り残っているが、現存する木造建築は奈良の「奈良ホテル」と武雄温泉の「楼門と新館」だけと言われる貴重な建造物である。
4. 武雄温泉のシンボルの楼門と新館は、辰吾の設計で、1915(大正4)年に竣工。

関連する物語

小説「東京駅の建築家 辰野金吾伝」

観光情報

武雄温泉 楼門・新館  
 旧唐津銀行  
 旧高取邸  
 唐津観光案内ガイド  
 武雄温泉ボランティア観光ガイド友の会  
 飛龍窯  
 黒髪山  
 川古大楠

94) 青木繁と坂本繁二郎

(洋画家)

物語の概要

1. 青木繁 1882(明治15)年7月13日～1911(明治44)年3月25日没。
2. 福岡県久留米市出身の洋画家。洋画家・坂本繁二郎とは小学校の同級生で、親友でありライバルであった。17歳の時に上京。東京美術学校に入学し、黒田清輝から指導を受ける。「神話画稿」が白馬会賞を受賞。28才で死去。「海の幸」、「わたつみのいるこの宮」は重要文化財に指定されている。
3. 黒田清輝 <1866(慶応2)年～1924(大正13)年> は、鹿児島出身。東京美術学校教師を経て、帝国美術院院長を勤める。
4. 坂本繁二郎 1882(明治15)年3月2日～1969(昭和44)年7月14日没。
5. 福岡県久留米市出身の洋画家。先に上京した青木繁に刺激され、20才で上京。フランスに渡り、シャルルゲランに師事。帰国後は久留米に戻り、終生この地で制作を続けた。1956(昭和31)年文化勲章を受章。代表作:「水より上がる馬」、「放牧三馬」など。

関連する物語

小説  
『青木繁と坂本繁二郎「能面は語る」』  
小説「悲劇の洋画家 青木繁」  
伝記 黒田清輝  
伝記 東郷青児

観光情報

石橋美術館  
坂本繁二郎資料室  
坂本繁二郎の生家  
(2010年 一般公開予定)

青木繁旧居  
青木繁 歌碑  
けしけし祭

95) 田中一村

(洋画家)

物語の概要

1. 1908(明治41)年7月22日～1977(昭和52)年9月11日没。
2. 栃木県下都賀郡栃木町(現・栃木市)出身。
3. 若くして南画(水墨画)に才能を発揮し「神童」と呼ばれ、将来を嘱望されながらも、中央画壇とは一線を画し、清貧の中で画業に励んだ。
4. 1958(昭和33)年、50歳の時に南の島々の自然に魅せられ、奄美大島に移り住み、大島紬の工場などで働きながら、衣食住を切り詰め、不遇とも言える生活の中で奄美を描き続け、69歳でその生涯を終える。

関連する物語

映画「アダン」  
小説「アダンの画帖—田中一村伝」  
小説「神を描いた男・田中一村」

観光情報

田中一村終焉の家  
奄美大島  
田中一村記念美術館  
奄美の郷

奄美博物館  
奄美アイランド  
奄美海洋展示館

96) 滝廉太郎

(音楽家)

物語の概要

1. 1879(明治12)年8月24日～1903(明治36)年6月29日没。
2. 東京市芝区(現・東京都港区)出身。滝(瀧)家は、大分の日出藩の家老職の家柄。内務官吏であった父の勤務地、竹田にも住む。東京音楽学校(現・東京藝術大学)卒。
3. 23才で亡くなるも、多くの唱歌を残し、明治の西洋音楽黎明期における代表的な音楽家の一人となる。
4. 代表作「荒城の月」は、彼が最も愛したといわれる豊後竹田の岡城址をイメージして作ったと言われている。

関連する物語

歌謡・民謡「荒城の月」  
映画「わが愛の譜・滝廉太郎物語」  
漫画・アニメ「美味しんぼ71巻」

観光情報

岡城址  
滝廉太郎旧宅(滝廉太郎記念館)  
滝廉太郎トンネル  
殿町の武家屋敷

竹田市立歴史資料館  
竹楽  
竹田湧水群

## 97) 古賀政男

(作曲家)

### 物語の概要

1. 1904(明治37)年11月18日～1978(昭和53)年7月25日没。
2. 本名、古賀正夫。福岡県田口村(現・大川市)出身。大阪の商店に勤めた後、苦学して明治大学に進学。
3. 在学中に『影を慕いて』を発表。卒業後レコード会社の専属の作曲家として数々の作品を発表し、ヒット曲を生み出す。これらは『古賀メロディー』と呼ばれ、日本の歌謡シーンに多大な影響を及ぼした。
4. 作曲活動のかたわら、音楽親善大使として世界各地をまわる。没後、国民栄誉賞を受賞。

### 関連する物語

歌謡・民謡「無法松の一生」  
テレビドラマ「幾山河は越えたれど～  
昭和のこころ古賀政男～」

### 観光情報

古賀政男記念館・生家  
古賀政男命日祭  
旧吉原家住宅・資料館

大川市立清力美術館  
筑後川昇開橋  
風浪宮本殿

## 98) 照和ライブハウス列伝

(歴史、歌)

### 物語の概要

1. 1970年代～1980年代。
2. 福岡市の天神に誕生したライブ喫茶。「照和」という名は70年安保でゆれる時代、「世の中を明るく照らしたい」というオーナーの願いが込められている。
3. ノーギャラ、ノーノルマという独特のシステムの中で、若手ミュージシャンの登竜門となった。
4. チューリップ、甲斐バンド、井上陽水、武田鉄矢、長渕剛などのスターが次々に誕生し、日本中に「照和」の名が知られるようになった。

### 関連する物語

映画「ラストソング」  
歌謡・民謡「能古島の片想い」  
歌謡・民謡「母に捧げるバラード」

### 観光情報

ライブハウス「照和」  
大濠公園  
西公園

能古島  
千鳥橋

## 99) 九州の歌

### 物語の概要

「川上音二郎のオッペケペー節」(福岡。明治創成期演劇人川上音二郎。妻は女優の貞奴。日本初のレコード録音作品)  
「奄美の島唄」(奄美。琉球・薩摩藩の支配下の哀愁の情を歌った民謡。)  
「シャンシャン馬道中唄」(宮崎。新婚夫婦が鶏戸神宮に参拝する道中を歌った民謡。)  
「黒田節」(福岡。戦前に人気芸者歌手赤坂小梅によってレコード化された民謡。)  
「坊がつる讃歌」(大分。もとは廣島高等師範寮歌だったが歌手芹洋子により全国的に知られるようになった。)  
「牛深ハイヤ節」(熊本。江戸後期に帆船で賑った天草の牛深湊で生まれた民謡。)  
「おてもやん」(熊本。全国的に知られる民謡。「おても」は肥後の若い女性の通称。)  
「刈干切唄」(宮崎。秋山の草刈で歌われる男性的で風土色の濃い仕事唄。)  
「おはら節」(鹿児島。島津家の琉球侵攻に従軍した日向安久の郷土が陣中で士気を鼓舞するために唄ったといわれる民謡。)  
「五木の子守唄」(熊本。五木村に生まれた守り子娘たちが歌った子守唄。)  
「日向木挽唄」(宮崎。東臼杵地方で歌われてきた労働歌。)  
「長崎は今日も雨だった」(長崎。内山田洋とクルー・ファイブのデビュー歌謡曲。)

### 観光情報

川上音二郎像(福岡県)  
奄美大島(鹿児島県)  
鶏戸神宮(宮崎県)  
福岡城址(福岡県)  
久住連山(大分県)  
牛深、天草(熊本県)  
牛深ハイヤまつり(熊本県)  
おてもやん像(熊本県)  
火の国まつり(熊本県)  
正調刈干切唄全国大会(宮崎県)  
おはら祭(鹿児島県)  
子守唄公園(熊本県)  
日向木挽唄全国大会(宮崎県)  
丸山公園(長崎県)

## 100)九州の詩歌

### 物語の概要

「幾山河越えさり行かば寂しさの終てなむ国ぞ今日も旅ゆく」  
 (若山牧水。1908<明治41>年。)

「我胸の燃ゆる思ひにくらぶれば煙はうすし桜島山」  
 (平野国臣。1860<万延元>年。鹿児島。)

「花衣ぬぐや纏はるひもいろいろ」  
 (杉田久女。1919<大正8>年。小倉。)

「乳母車 夏の怒涛に よこむきに」  
 (橋本多佳子。1951<昭和26>年。)

「わが病ようやく癒えぬと思うまで嬉野の山秋ふけむとす」  
 (斎藤茂吉。1920<大正9>年。嬉野。)

「わがひとに与ふる哀歌」  
 (伊東静雄。1934<昭和9>年。諫早。)

「むらさきに温泉嶽は暮れゆけど夕日けぶれり天草の灘」  
 (与謝野寛。1932<昭和7>年。島原。)

万葉集「湯の原に 鳴く葦田鶴は わたごとく 妹に恋ふれや  
 時わかず鳴く」 ほか多数

(7世紀後半から8世紀後半頃にかけて編まれた、日本に現存する最  
 古の歌集。様々な身分の人が詠んだ歌を4500首以上も集めている。)

### 観光情報

「幾山～」  
 牧水公園(宮崎県)

「我胸の～」  
 桜島(鹿児島県)

「花衣～」  
 北九州市小倉北区境町公園(福岡県)

「乳母車～」  
 櫛山荘公園(福岡県)

「わが病～」  
 轟の滝公園(佐賀県)

「わがひとに～」  
 諫早公園くじら橋(長崎県)

「むらさきに～」  
 雲仙普賢岳(長崎県)

万葉歌碑  
 筑紫野市湯町(福岡県)  
 唐津市神集島(佐賀県)  
 長崎市坂本町(長崎県)  
 八代市水島(熊本県)  
 湯布院町川北(大分県)  
 高千穂(宮崎県)  
 長島町田尻小学校近く(鹿児島県)  
 ほか多数

## 提言の骨子

### 提言「九州の物語を活用した観光交流促進に向けて」

#### 1 物語の魅力、情報発信に関する提言

< 提言1 > 「魅力ある九州の物語百選」による情報発信と活用

< 提言2 > 「九州物語ライブラリー」の創設

#### 2 物語を活用する旅の提案についての提言

< 提言3 > 物語を活用した新たな旅の提案

< 提言4 > 物語をテーマとした広域観光ルートの開発

#### 3 物語に関する受入体制、地域づくりの提言

< 提言5 > 文学館・博物館等の連携や観光とのタイアップ

< 提言6 > まちづくりと一体となった物語の活用

< 提言7 > 観光ボランティアガイドの充実

#### 4 物語の情報発信等による誘致促進に関する提言

< 提言8 > フィルムコミッションの活性化

< 提言9 > 海外・国内への情報発信・誘致宣伝活動

## 提 言

九州の物語を活用した観光交流促進に向けて

観光交流促進における九州の物語の活用に関する検討委員会

（略称：九州物語委員会）





## はじめに

九州は遠い昔から国際性に富む豊かな歴史を持ち、小説、詩歌、映画、テレビドラマ、歴史・伝記、神話・民話、漫画・アニメといった物語の舞台となってきたが、それそのものが観光資源として扱われるものではなかった。

しかしながら、近年では、物語が地域やその魅力の情報発信のツールとして、また、旅のテーマ性を提供し、動機付けを助長する要素として大きな存在となりつつある。

「観光交流促進における九州の物語の活用に関する検討委員会」(略称「九州物語委員会」)では、こうした物語と観光をつなぐ状況の変化を受け止め、九州の物語を活かして、九州の魅力を情報発信するとともに、九州の地を訪れる新たな旅の提案や誘客の方策、観光客の受入のための連携や地域づくり等を進めるべく、九州の物語が観光に及ぼす意義とその活用方策等について検討を重ねてきた。

そして、ここに、「九州の物語を活用した観光交流促進に向けて」を提言するに至った。

今後、この提言が具体化されることにより、九州の物語が新たな観光資源となり、九州の観光交流促進に大きく貢献していくことを強く期待する。



## 1 物語の魅力、情報発信に関する提言

### 提言1 「魅力ある九州の物語百選」による情報発信と活用

本委員会では、九州各県関係者から収集した物語を整理し、小説、詩歌、映画、テレビドラマ、歴史・伝記、神話・民話、歌謡・民謡、漫画・アニメなど325の物語概要を作成し、これらについて、一般及び旅行業者を対象としたアンケート調査の結果を参考として、九州の魅力を発信し、今後の観光素材として活用し得るものとの観点から「魅力ある九州の物語百選」を選定した。

この「魅力ある九州の物語百選」を活用し、出版等を行い、全国に発信することで、九州への旅の興味や動機付けを図るとともに、地域においてもその地が有する物語、歴史等の価値を再確認し、新たな旅の提案や受入体制の整備等への取組みを促す必要がある。

また、さらに地域に眠る新たな物語、関連する物語や観光地の情報についてもその発掘を促す必要がある。

### 提言2 「九州物語ライブラリー」の創設

九州の物語をテーマ、ジャンル等の別に整理した上で、旅への入口とし、関連する物語や観光地情報（観光スポット、イベント等）へのリンクなどにより観光につなげる「九州物語ライブラリー」を創設するとともに、インターネット上で公開するシステムを構築することが必要である。

なお、ライブラリーの管理運営にあたっては、九州観光のポータルサイトであり、「うんちくの旅」等のテーマ性のある旅の提案を行っている九州観光推進機構が提供しているサイト等との連携を図り、ライブラリーの有効活用を図る必要がある。

**提言3 物語を活用した新たな旅の提案**

最近における旅行目的や旅行形態の変化に対応し、観光客の知的好奇心を満たすテーマ性を持った旅のニーズに応えるには、物語の持つ機能に着目し、新たな旅を、地域から、また、地域が連携して積極的に提案する必要がある。

**地域の情報やその魅力を発信する物語の活用**

「篤姫」の例にみるまでもなく、テレビ、映画、小説を通じ、物語の舞台としての地域の魅力が発信される場合が多い。そうした情報発信の機会を活用・連携し、舞台となる地域への旅の魅力を情報発信することにより、新たな旅の提案を行う必要がある。

その場合においては、真に魅力的な観光資源等を選別・工夫し、受入体制の整備などを図り、地域の魅力に持続性があり、リピーター化が期待できるものとするよう努力する必要がある。

**観光資源の魅力や価値を高める物語の活用**

「柳原白蓮」の物語の例にみるように、地域の史跡、街並み、自然等の観光資源の魅力や価値を高める物語が多くある。このため、地域の観光資源が有する物語性をもう一度再点検し、そうした物語がそれら観光資源の魅力を高めると認められる場合は、その物語の魅力と合わせ、効果的な情報発信と旅の提案を行う必要がある。

その場合、観光資源等においてもその物語性を説明、表示する等の受入体制を整備するとともに、地域における類似の物語を有する他の観光資源との連携にも考慮する必要がある。

**旅のテーマとしての物語の活用**

「万葉の旅」等物語を辿る旅であるとか、映画・ドラマのロケ地を巡る旅であるとか、観光資源をつなげ物語そのものをテーマとして辿る旅等が提案される。特に、今後、こだわりの旅への二

ーズの高まりが予想される中、消費行動の中心となる女性を対象とした旅の提案が必要である。

この場合において、物語の魅力を理解した旅の構成と観光資源、観光地が連携した受入体制の整備や情報発信等が必要となる。

受地側の取組みとしては、物語をもとに地域及び関係者の協議会等を設置し、受入体制の整備や着地型旅行商品の造成や発地側エージェント等への働きかけ、連携を図る必要がある。

また、発地側においては、関係地域と連携を図り、物語を活用したテーマ性のある新たな旅行の開拓に積極的に取り組むことが期待される。

#### 学習、交流、体験型及び滞在型の旅行への物語の活用

物語の背景となる歴史、文化、物語の作者等に関して、より深く学び、体験し、地域の人と交流し、さらには、同じ趣旨を持った旅行者が広く情報交換できるような旅の提案を行う必要がある。

また、物語にまつわる地域に滞在し、物語の背景やうんちくを訪ねる滞在型の旅の提案を行う必要がある。

この場合、物語に関連した歴史、文化等についてのボランティアガイドやコンシェルジェの整備、文学館・博物館等でのイベント、学習会等の積極的な活用と情報提供、参加機会の確保等を図るとともに、利用・開催条件等について発地側との連携を図る必要がある。

また、滞在型旅行については、滞在地を中心とする関係周辺地域が連携し、旅行者へ滞在メニューや情報の提供等の受入体制の整備を図る必要がある。

また、地域の物語に対する旅行者ニーズを把握した上で、物語に関する情報の掘り起こしを行うワークショップ等を実施し、旅行者に新鮮な情報を提供し続ける仕組みを工夫する必要がある。

#### 教育旅行等への物語の活用

教育旅行については、その取り巻く環境の変化から従来からの団体で観光対象を周遊する旅行から、小グループによるテーマ性のある旅を提供することが求められている。

物語の持つテーマ性は、地域の固有性や異文化に触れる機会を提供する、教育旅行に求められる題材として、非常に魅力あるも

のである。九州が持つ海外との交流の歴史、産業を含む近代化の歴史、豊かな文化芸術といった素材を活かし、九州ならではの教育旅行のテーマやメニューとして提案する必要がある。

また、団塊の世代を中心として、一般の研究サークル活動も盛んとなる状況があり、物語そのものや物語に関連するものが研究のテーマとなる場合がある。九州では、物語の対象となる歴史、文学等のみならず、その背景にある建築物や生活文化、食文化、まつり等に独自性がみられ、これらを調査・研究するための研究サークル的旅行の提案が必要である。

#### 提言4 物語をテーマとした広域観光ルートの開発

物語が観光資源をつなげる役割を持つことは、提言3のとおりであるが、より広域に九州の物語の魅力情報を発信し、魅力的な旅の提案と受入体制の整備を図るためには、物語をもとに広域の観光ルートを設定し、関係者が一体となってその整備に取り組む必要がある。

平成19年度において、九州運輸局と九州地方整備局が九州独自の取り組みとして実施している「九州広域観光ルート支援モデル事業」では、「“恋の華”柳原白蓮と“炭坑王”伊藤伝右衛門のゆかりの地を巡る旅」がモデルルートとして選定されているが、これは「柳原白蓮と伊藤伝右衛門」の物語を一つのテーマとして巡る旅の提案である。

このように広く各地域が互いに連携してテーマに合わせた観光資源の磨き上げを行い、旅の行程で物語が自然に理解できるようにつなげ方を念頭に置き、物語をテーマとした旅や物語に関連する土地や建物、史跡、文学館、博物館、ロケセット、イベント等を観光素材とした広域観光ルートの開発を図る必要がある。

この場合、各地域のガイド、展示、イベント等の内容を吟味し、情報を過不足なく整理して、連続性を持たせた旅の提案を行うコンシェルジェが必要である。

### 3 物語に関する受入体制、地域づくりの提言

#### 提言5 文学館・博物館等の連携や観光とのタイアップ

平成17年10月に開館した九州国立博物館は、展示物のスケールやレイアウトの創意工夫、活発なボランティア活動などが話題となり、これまで450万人の来館者を集めている。

地域の文学館や博物館等は、物語のテーマを有する重要な受入施設であり、来館者のニーズや施設の特性を踏まえつつ知的感動や学びを提供することが期待されている。その一方、資料等の収集やその散逸を防ぐという役割の面が強く、観光客を誘致する観光面との結びつきが弱いことが課題とされる場合がある。

このような文学館・博物館等が有する意義などを尊重しつつ、これらを中心とした新たな話題づくり等を積極的に進め、観光誘致とのタイアップを図り、物語をテーマとした旅行商品の造成など文学館・博物館等そのものが新たな観光資源として活用される必要がある。

そのため、文学館・博物館等がキュレーターの積極的な対応などにより、相互に、あるいは、地域の観光関係者と連携する場を設け、その観光資源としての機能を高めるべく積極的な情報交換を図る必要がある。

個別の取組みとしては、文学館・博物館等が所蔵する物語に関する旅行者への情報の発信・提供、文学館・博物館等相互による、あるいは、地域との連携による共通のテーマや物語に関する展示・イベント等による旅行者の誘致、旅行者の参加を可能とする学習会・イベント等の積極的な開催と観光関係者への情報発信が必要である。また、旅行者を受け入れるための道路案内板や駐車場の整備等を進めていくことが望まれる。

また、外国人観光客に対して、多言語化による案内や説明を実施する必要がある。

さらには、交通事業者とのタイアップによる周遊切符の発売、九州の文学館等を紹介した共通のホームページの開設等を検討することが望まれる。

## 提言6 まちづくりと一体となった物語の活用

物語のテーマに合わせて、様々な形で地域固有の観光資源を活用・整備していくためには、まちづくりと一体となった創意工夫あふれるハード・ソフトの整備・活用が必要である。

具体的なソフト整備としては、物語にちなんだ食メニューの開発、イベントの開催、ボランティアガイドの拡充等とともに、観光案内サービスの充実、マップコードによるカーナビゲーションシステムの構築等が必要である。

また、ハード整備としては、物語にちなむ記念碑等の設置、関連観光施設周辺の歩道の石畳化、電柱の地中化、多言語観光案内板の設置、ユニバーサルデザインを取り入れた歩きやすく安全な道路整備等への取組みが望まれる。

九州運輸局と九州地方整備局が九州独自の取組みとして実施している「九州広域観光ルート支援モデル事業」では、関係地域において「柳原白蓮と伊藤伝右衛門」をテーマとするまちづくりが計画されており、こうした取組みをモデルとして、広域ルートにおいても広い地域が連携したまちづくりへの取組みが望まれる。

## 提言7 観光ボランティアガイドの充実

観光ボランティアガイドは、物語の背景や意味、うんちくを語る魅力的な存在であり、旅行者と地域の交流を活発化するという点で意義あるところである。また、地域の物語の重要性を再認識するとともに、地域文化の継承、地域経済の発展、地域住民の生きがい等に寄与する役割も担っている。

しかしながら、九州の観光ボランティアガイドの現状は、観光客に十分な満足を与えることの出来る専門知識とホスピタリティーを兼ね備えた観光ガイドの数が、まだ十分であるとは言い難い。

こうした状況を踏まえ、団塊世代へのガイド活動への参加を呼びかけるリーフレットの作成及び普及講座の開催等によるガイド数の増加を図るとともに、呼称の変更等によるガイドの意欲向上のための施策や地域の物語を伝授する研修会等による質の向上によってガイドの



充実を図ることが必要である。また、一定の物語についての深い知識をもとにその物語の語り部としての専門ガイドを設け、そのガイドと一緒に物語に関する広域なルートを巡る旅の提案などが望まれる。

## 4 物語の情報発信等による誘致促進に関する提言

### 提言8 フィルムコミッションの活性化

九州には全国フィルム・コミッション連絡協議会に加盟している団体として11のフィルム・コミッションが存在し、個別の活動を展開している。

九州として地域が一体となって、受入体制の整備、情報発信の活性化を進めるため、「フィルム・コミッション九州協議会（仮称）」といった組織を創設することが必要である。

こうした協議会の活動を通じて、各フィルム・コミッションのロケーション情報の共有化、コーディネート情報の連携を図り、地域を越え、より情報発信力のある九州の広域を舞台とする物語について、映画化、テレビ放映への支援とその促進を図る必要がある。

また、情報発信の活性化を図るイベントとして、九州の物語をテーマとしたフィルムフェスティバル等の開催も望まれる。

### 提言9 海外・国内への情報発信・誘致宣伝活動

九州の物語への関心を集め、観光交流の集客力を高めるためには、行政、観光関係者、マスメディア等が連携し、九州の物語の特色を強く打ち出した情報発信、誘致宣伝活動やキャンペーン活動を推進し、旅行商品の造成につなげていくことが重要である。特に、九州への入込客が伸びを見せている東アジアをターゲットとした外国客誘致は九州が一つになって取り組むべき課題である。

九州は、古くからアジアとの交流の歴史を持ち、大航海時代以降においては西洋との交流の窓口ともなってきた。明治以降においては近代社会の実現や、あるいは産業近代化に大きな役割を果たしたところでもある。

このような九州の歴史や位置づけに基づく魅力ある物語を、九州を訪れる動機付けや目的として大いに活用すべきである。

平成20年のNHK大河ドラマ「篤姫」の放送開始により、地元鹿児島では、「篤姫」をテーマとしたキャンペーンの実施、観光ガイドの発足、資料館の開館等の取組みがなされているところである。

こうした取り組みをモデルとして、今後、情報発信が大きく期待されるドラマ・映画や歴史などに関わる重要な催事、周年記念事業等に着眼して、これらに関する物語を活用した観光についての情報発信、観光客誘致、関連旅行商品の造成等を連携し、一体的に行うことにより、その効果を高める必要がある。

特に、海外に対しては、九州としての強い情報発信が必要であり、各国、各地域での物語に対する意識・イメージ、情報発信力を検討し、九州観光推進機構を中核とするなど一体的に取り組む必要がある。

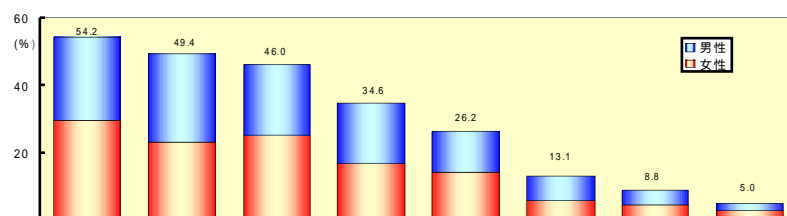
また、九州の小説、歴史、映画等の多言語化や翻訳等について、多面的な支援を行うことにより、九州の物語のアジアや世界への情報発信を促していくことが望まれる。

さらに、こうした物語の豊かさを九州のブランドイメージとして情報発信を効果的に進めていくため、統一的なキャッチフレーズ、ロゴ等の活用について検討を行う必要がある。

# アンケート調査結果

## 1. 九州の魅力やイメージを伝えるのに有効なジャンル

物語のジャンルでは、「テレビドラマ」が最も多くの支持を集め、「歴史・伝記」「映画」が続く。性別では、男性は「歴史・伝記」を一番目に挙げているが、女性は「テレビドラマ」に次いで「映画」が多い。年代別では、50代以上で「テレビドラマ」より「歴史・伝記」のほうが多く、20代及び40代では「テレビドラマ」について「映画」が多い。



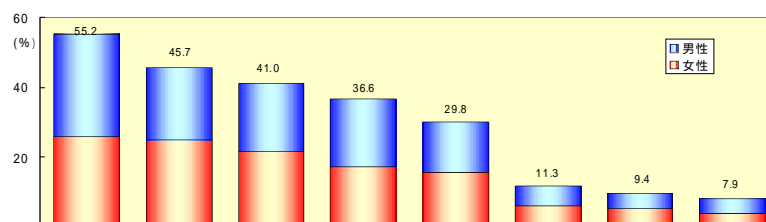
上段:件数 下段:構成比[%]	調査数	テレビドラマ	歴史・伝記	映画	神話・民話	小説	漫画・アニメ	歌謡・民謡	詩歌
		合計	1260	683	623	580	436	330	165
性									
男性	630	54.2	49.4	46.0	34.6	26.2	13.1	8.8	5.0
女性	630	49.4	52.7	41.7	36.6	23.8	14.6	8.4	4.3
年代									
20代	252	59.0	46.2	50.3	33.7	28.6	11.6	9.2	5.7
30代	252	52.3	46.8	46.8	23.4	30.2	16.7	7.5	3.6
40代	252	54.4	44.4	44.8	30.6	28.2	13.9	6.0	4.4
50代	252	60.7	44.1	50.0	30.3	24.2	15.5	7.9	3.6
60代以上	252	52.0	58.3	46.8	43.3	21.8	11.1	8.7	5.6
居住地									
東京都	420	54.8	53.8	45.0	38.1	27.6	14.5	8.6	5.2
大阪府	420	54.8	46.2	44.0	28.8	21.7	11.2	10.0	4.0
福岡県	420	53.1	48.8	49.0	36.9	29.3	13.6	7.9	5.7

\* 合計欄は上段が件数、下段が構成比(%)

(複数回答)

## 2. 旅の目的や動機となり得るテーマ

「歴史・伝記」が最も多くの支持を集め、特に50代以上のシニア層は60%以上の方が挙げている。ついで、「テレビドラマ」「映画」となっている。年代別では、30代で「テレビドラマ」が54%と最も多くの支持を集め、60代以上で「神話・民話」が50.8%と高い支持を集めている。



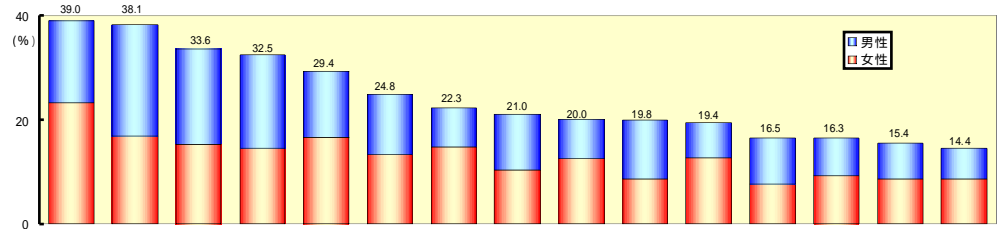
上段:件数 下段:構成比[%]	調査数	歴史・伝記	テレビドラマ	映画	神話・民話	小説	漫画・アニメ	詩歌	歌謡・民謡
		合計	1260	696	576	516	461	375	143
性									
男性	630	55.2	45.7	41.0	36.6	29.8	11.3	9.4	7.9
女性	630	59.0	42.1	39.0	38.9	28.6	11.3	9.0	8.6
年代									
20代	252	51.4	49.4	42.9	34.3	31.0	11.4	9.7	7.3
30代	252	45.6	42.1	42.1	27.4	29.0	17.1	6.3	6.0
40代	252	48.4	54.0	44.0	31.0	29.4	14.3	8.3	6.3
50代	252	54.8	49.6	44.0	31.7	29.0	11.9	4.8	4.4
60代以上	252	64.7	43.3	40.5	42.1	30.2	9.9	11.9	8.3
居住地									
東京都	420	66.5	44.0	41.4	38.8	32.1	10.0	9.5	8.3
大阪府	420	52.1	47.9	37.9	31.2	24.0	10.7	7.6	8.3
福岡県	420	53.1	45.2	43.6	39.8	33.1	13.3	11.0	7.1

\* 合計欄は上段が件数、下段が構成比(%)

(複数回答)

### 3. 魅力を感じるテーマ（小説）

最近の話題作である「佐賀のがばいばあちゃん」が最も多くの支持を集め、「街道をゆく」「まぼろしの邪馬台国」等の歴史小説が続く。



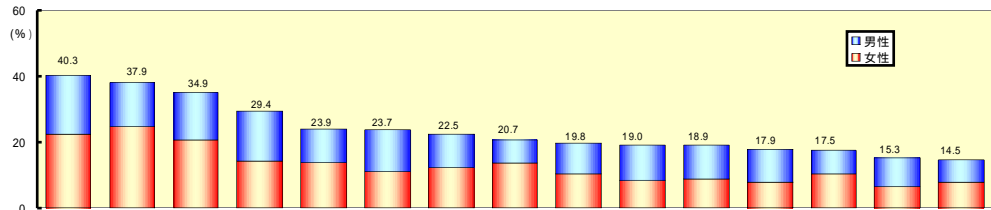
調査数	「佐賀のがばいばあちゃん」	「街道をゆく」	「まぼろしの邪馬台国」	「翔ぶが如く」	「点と線」	「精霊流し」	「解夏」	「青春の門」	「放浪記」	「邪馬台国五文字の謎」	「黄泉がえり」	「無法松の一生」	「草枕」	「三毛猫ホームズの無人島」	「火宅の人」
合計	492	480	423	409	370	313	281	265	254	250	245	208	206	194	182
男性	31.7	42.7	36.5	36.2	29.4	23.2	15.1	21.6	15.4	22.5	13.8	17.8	14.6	13.5	11.7
女性	47.2	29.4	21.0	21.8	20.2	23.0	29.8	7.1	10.7	13.5	31.3	5.2	14.3	19.0	2.8
20代	25.2	42.1	24.2	25.4	25.4	19.8	26.2	13.5	14.3	16.7	26.6	12.3	17.5	19.8	10.7
30代	25.2	37.3	32.1	32.1	29.4	28.6	24.2	20.2	17.1	21.4	18.7	10.7	10.3	15.9	15.1
40代	25.2	42.1	43.7	43.3	36.9	36.9	27.0	18.3	32.5	27.8	23.0	13.9	25.4	15.1	15.5
50代	25.2	26.6	61.1	46.0	37.7	34.9	25.8	13.1	31.7	31.0	24.6	6.7	29.0	24.6	6.7
60代以上	42.0	33.6	36.0	35.5	29.8	24.3	25.2	17.6	20.2	23.3	21.9	14.5	20.7	16.4	15.5
東京都	42.0	39.8	33.6	30.5	28.1	24.8	25.0	20.2	19.3	17.6	17.4	15.7	11.9	16.2	9.8
大阪府	42.0	43.8	44.8	34.8	33.6	25.2	21.4	26.2	22.6	18.8	19.3	19.3	16.4	13.6	18.1
福岡県															

\* 合計欄は上段が件数、下段が構成比 (%)

74件の小説の中から上位15件を表示

### 4. 魅力を感じるテーマ（映画）

「もののけ姫」が最も多くの支持を集め、「東京タワー オカンとボクと、時々、オトン」「佐賀のがばいばあちゃん」が続くなど記憶に新しい最近の作品が上位となった。



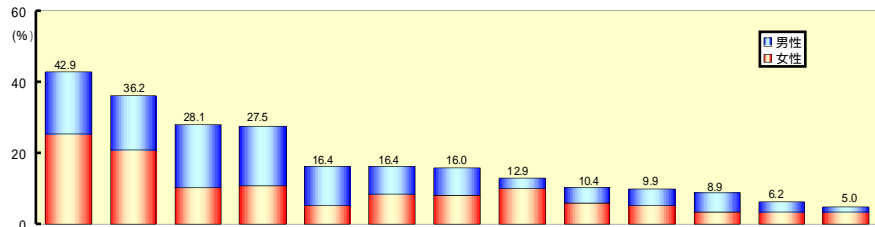
調査数	「もののけ姫」	「東京タワー オカンとボクと、時々、オトン」	「佐賀のがばいばあちゃん」	「男たちの大和/YAMATO」	「点と線」	「青春の門」	「精霊流し」	「解夏」	「なごり雪」	「釣りバカ日誌16」	「無法松の一生」	「釣りバカ日誌9」	「L O V E 海猿」	「L I M I T O F」	「男はつらいよ 私の寅さん 続編」	「俺は君のためにこそ死ににいく」
合計	508	478	440	371	301	299	284	261	250	240	238	225	220	220	193	183
男性	35.7	26.2	28.1	30.6	20.5	25.6	20.6	14.6	19.2	21.6	20.3	20.0	14.3	17.8	13.7	13.7
女性	44.9	49.7	41.7	28.3	27.3	21.9	24.4	26.8	20.5	16.5	17.5	15.7	20.6	12.9	15.4	15.4
20代	63.2	51.2	47.3	33.7	13.1	9.5	21.4	31.0	10.7	15.9	8.3	12.7	29.8	9.5	13.1	13.1
30代	41.7	47.2	38.9	31.3	21.4	10.7	19.0	23.8	15.5	15.5	11.9	14.7	20.2	10.3	13.1	13.1
40代	41.3	36.5	36.9	30.6	22.6	24.6	24.2	23.4	21.0	17.5	13.5	15.9	18.3	10.3	12.7	12.7
50代	37.7	34.1	35.7	27.0	32.5	38.9	23.8	15.1	27.4	23.0	25.4	21.4	12.3	21.8	15.9	15.9
60代以上	27.8	20.6	25.8	24.6	29.8	34.9	24.2	10.3	24.6	23.4	35.3	24.6	6.7	24.6	17.9	17.9
東京都	42.9	37.6	30.0	26.9	21.2	22.6	24.8	22.9	18.3	20.7	15.2	21.2	19.0	16.9	12.6	12.6
大阪府	38.8	38.8	35.2	31.2	21.7	19.8	21.9	19.0	18.3	19.0	17.9	18.1	17.1	14.8	14.0	14.0
福岡県	39.3	37.4	39.5	30.2	28.8	28.8	21.0	20.2	22.9	17.4	23.6	14.3	16.2	14.3	16.9	16.9

\* 合計欄は上段が件数、下段が構成比 (%)

56件の映画の中から上位15件を表示 (複数回答)

## 5. 魅力を感じるテーマ（テレビドラマ《テレビCMを含む》）

「佐賀のがばいばあちゃん」が最も多くの支持を集め、「のだめカンタービレ」「大分むぎ焼酎二階堂CM」が続く。NHKの大河ドラマ「翔ぶが如く」「武蔵（MUSASHI）」、連続テレビ小説「まんてん」「風のハルカ」は根強い人気を持っていることが分かる。



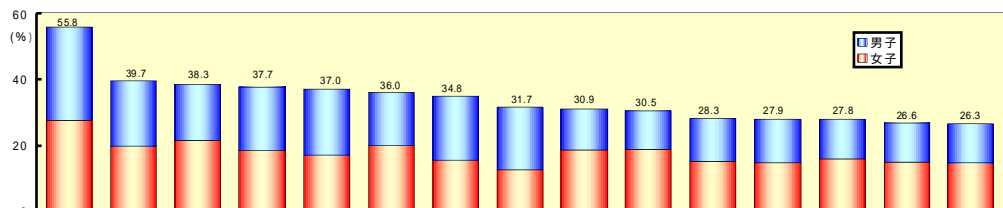
調査数	上段：件数		下段：構成比 [%]																					
	合計	男性	女性	佐賀のがばいばあちゃん	のだめカンタービレ	大分むぎ焼酎二階堂CM	翔ぶが如く	武蔵 (MUSASHI)	まんてん	風のハルカ	愛し君へ	危険なアネキ	オーディー	長崎奉行	びあの	ウェディング								
合計	1260	540	42.9	456	36.2	28.1	34.7	207	16.4	207	16.4	201	16.0	131	10.4	125	9.9	112	8.9	78	6.2	63	5.0	
性																								
男性	630	35.2	30.8	35.2	33.2	21.7	21.7	11.1	16.7	16.2	15.7	5.6	8.7	8.9	10.8	5.6	3.0	7.0	6.8	7.0	6.8	7.0	3.0	3.0
女性	630	50.5	41.6	21.0	21.7	11.1	16.7	16.2	20.3	12.1	11.0	7.0	6.8	7.0	6.8	7.0	3.0	7.0	6.8	7.0	6.8	7.0	3.0	3.0
年代																								
20代	252	42.1	58.3	18.7	10.7	14.7	13.5	11.9	23.0	17.5	11.5	3.2	4.8	3.6	4.4	3.2	4.4	3.2	4.4	3.2	4.4	3.2	4.4	3.2
30代	252	42.5	46.4	28.2	23.4	12.7	14.7	14.3	17.9	14.3	7.9	2.4	4.4	3.2	4.4	3.2	4.4	3.2	4.4	3.2	4.4	3.2	4.4	3.2
40代	252	42.1	41.7	29.4	27.0	14.7	17.1	13.5	9.1	7.1	9.1	7.1	5.6	4.4	3.2	4.4	3.2	4.4	3.2	4.4	3.2	4.4	3.2	4.4
50代	252	46.0	25.8	32.9	33.3	18.7	16.3	19.0	9.9	9.5	12.7	12.3	8.3	8.3	5.6	4.4	3.2	4.4	3.2	4.4	3.2	4.4	3.2	4.4
60代以上	252	41.7	10.7	31.3	43.3	21.4	20.6	21.0	4.8	3.6	8.3	19.4	7.9	8.3	5.6	4.4	3.2	4.4	3.2	4.4	3.2	4.4	3.2	4.4
居住地																								
東京都	420	38.6	42.6	22.9	26.4	16.4	16.4	11.4	13.6	11.2	9.5	8.8	6.4	4.3	3.2	4.4	3.2	4.4	3.2	4.4	3.2	4.4	3.2	4.4
大阪府	420	42.6	30.2	26.4	25.5	15.7	17.6	15.5	9.8	8.6	11.2	9.8	7.1	4.8	3.2	4.4	3.2	4.4	3.2	4.4	3.2	4.4	3.2	4.4
福岡県	420	47.4	35.7	35.0	30.7	17.1	15.2	21.0	15.5	11.4	9.0	8.1	5.0	6.0	3.2	4.4	3.2	4.4	3.2	4.4	3.2	4.4	3.2	4.4

\* 合計欄は上段が件数、下段が構成比 (%)

13件のテレビドラマ(テレビCMを含む)の13件を表示 (複数回答)

## 6. 魅力を感じるテーマ（歴史・伝記）

九州の歴史の一大テーマである「邪馬台国伝説」が50%を超える多くの支持を集め、上位10位までが30%を超え、ジャンルとしての魅力を感じさせる。



調査数	上段：件数		下段：構成比 [%]															
	合計	男性	女性	邪馬台国伝説	太宰府	夏目漱石	天草・島原の乱	吉野ヶ里遺跡	フランシスコ・ザビエル	宮本武蔵	西郷隆盛	平家物語	松本清張	北原白秋	福沢諭吉	キリスト教の伝来	森鴎外	隠れキリシタン
合計	1260	703	55.8	500	483	475	466	454	439	399	389	384	356	351	350	335	332	
性																		
男性	630	35.8	39.8	34.0	38.9	40.0	32.2	38.7	38.4	24.9	23.5	26.3	27.0	23.5	23.3	23.2	23.2	
女性	630	55.1	39.5	42.7	36.5	34.0	39.8	31.0	24.9	36.8	37.5	30.2	28.7	32.1	29.8	29.5	29.5	
年代																		
20代	252	56.3	42.5	40.1	33.7	38.1	38.1	36.5	23.8	33.3	23.0	22.2	27.0	31.7	27.8	25.0	25.0	
30代	252	45.2	38.5	35.3	35.7	27.8	36.9	30.6	29.0	31.3	31.0	25.4	29.0	27.8	25.4	25.0	25.0	
40代	252	58.3	37.7	37.3	33.3	36.5	36.9	32.9	31.3	26.2	30.2	21.8	21.4	25.8	25.8	26.6	26.6	
50代	252	59.9	40.5	39.7	43.3	34.9	32.1	42.5	36.1	32.9	33.7	32.9	32.1	26.2	26.6	29.0	29.0	
60代以上	252	59.1	39.3	39.3	42.5	47.6	36.1	31.7	38.1	30.6	34.5	38.9	29.8	27.4	27.4	26.2	26.2	
居住地																		
東京都	420	60.2	38.6	39.3	41.9	38.6	40.7	38.6	31.4	34.0	29.3	26.4	29.5	35.2	27.6	29.5	29.5	
大阪府	420	52.9	33.3	37.1	35.2	28.8	36.9	29.5	32.6	27.6	25.0	23.6	26.7	26.4	23.1	27.1	27.1	
福岡県	420	54.3	47.1	38.6	36.0	43.6	30.5	36.4	31.0	31.0	37.1	34.8	27.4	21.7	29.0	22.4	22.4	

\* 合計欄は上段が件数、下段が構成比 (%)

123件の歴史・伝記の中から上位15件を表示 (複数回答)

## 7. 魅力ある九州の人物ベスト20

一般アンケート調査の結果から、支持率の高い順に九州の人物をあげると次のとおりである。多くの支持を受けた人物ほど、知名度が高く、情報発信力を持つと思われる。

順位	氏名	ジャンル	九州との関わり	生没年	支持率 (%)
1	夏目漱石	文学者	熊本の五高で約4年間教鞭をとった。	1867～1916	38.3%
2	フランシスコ・ザビエル	宣教師	1549年に鹿児島に上陸し、鹿児島、平戸、大分などで布教活動に努めた。	1506～1552	36.0%
3	宮本武蔵	剣術家	熊本で晩年の5年間を過ごし、「五輪書」などの書物を書き上げた。	1584～1645	34.8%
4	西郷隆盛	維新の英雄	藩主斉彬に見出されて薩摩の代表的な人物に成長した。	1827～1877	31.7%
5	松本清張	作家	北九州市出身。九州各地を舞台にした物語が数多く存在する。	1909～1994	30.5%
6	北原白秋	詩人	福岡県柳川に生まれ、19歳まで暮らした。	1885～1942	28.3%
7	福沢諭吉	教育者	豊前国中津藩の蔵屋敷で下級藩士の次男として生まれた。	1835～1901	27.9%
8	森鷗外	文学者	陸軍第十二師団軍医部長として小倉に赴任し、約1年半を過ごした。	1862～1922	26.6%
9	小泉八雲	文学者	1891年旧制五校の教師として熊本に赴任。	1850～1904	25.7%
10	高倉健	俳優	福岡県中間市出身。日本を代表する映画俳優。中国をはじめ海外での人気も高い。	1931～	25.6%
11	滝廉太郎	音楽家	家族と共に竹田に移り住み12歳から14歳までを過ごした。	1879～1903	21.7%
12	大久保利通	政治家	鹿児島出身。西郷隆盛とは青少年期を共に過ごした。	1830～1878	19.5%
13	菅原道真	官吏・学者	太宰府へ左遷され、そこで生涯を終えた。	845～903	18.5%
14	黒田如水	戦国大名	関ヶ原の合戦後、中津城から福岡城に移り、隠居生活を送った。	1546～1604	16.7%
15	島津斉彬・久光	幕末大名	薩摩藩主。斉彬は幕府への強い政治力などから三百諸侯の中でも優れた藩主といわれた。久光は斉彬の志を継ぎ国事に尽くした。	斉彬： 1809～1858 久光： 1817～1887	14.8%
16	孫文	政治家	日本に亡命中、熊本出身の宮崎寅蔵(滔天)が生家にかくまった。	1866～1925	14.4%
16	加藤清正	戦国大名	日本名城の一つ熊本城を築き、県内至る所で治水・利水事業を行った。	1562～1611	14.4%
18	大隈重信	教育者・政治家	佐賀出身の第8代、第17代内閣総理大臣。	1838～1922	13.5%
18	東郷平八郎	軍人	鹿児島出身。日露戦争ではバルチック艦隊に完勝し、東洋のネルソンと呼ばれた。	1847～1934	13.5%
20	与謝野鉄幹・晶子	歌人	九州旅行中に晶子17首、鉄幹28首と多くの歌を残した。	鉄幹： 1873～1935 晶子： 1878～1942	12.0%

# 九州物語委員会について

(観光交流促進における九州の物語の活用に関する検討委員会)

## 設置趣旨

九州の地が有し、人々が育んできた多くの物語(小説、詩歌、映画、テレビドラマ、歴史・伝記、神話・民話、歌謡・民謡、漫画・アニメ)を活かして、九州の魅力を情報発信するとともに、九州の地を訪れる新たな旅の提案や誘客の方策、観光客の受け入れのための連携や地域づくり等を進めるべく、九州の物語と観光に及ぼす意義とその活用方策等について検討を行う。

## 九州の物語を活用した九州の観光振興・交流促進に向けた取組

第1回九州物語委員会の開催(平成19年7月23日)  
九州の物語の発掘、収集、分析、整理(約1,200件収集)  
九州の物語の観光面における意義の整理



アンケート調査(一般及びプロ向け)の実施(平成19年10月～11月  
:インターネットの活用や東京・大阪・福岡会場での説明)  
九州の物語の発信力、旅の提案、観光誘客についての評価



第2回九州物語委員会の開催(平成19年12月4日)  
九州の物語の活用方策の検討



九州物語シンポジウムの開催(平成20年2月29日)  
～観光交流促進における九州の物語の活用方策は～



第3回九州物語委員会の開催(平成20年3月13日)  
「魅力ある九州物語100選」とデータベースの活用について  
提言「九州の物語を活用した観光交流促進に向けて」

## 九州物語委員会の構成

【委員名簿】25名

氏名	役職	氏名	役職
田中 浩二	九州観光推進機構会長(九州旅客鉄道株会長)	納富 昌子	RKB毎日放送メディア事業部次長
古川 康	佐賀県理事	砂田 光紀	オフィス・フィールドノート代表
筑紫 哲也	ジャーナリスト	坂梨 正雄	(社)九州経済連合会常務理事
高岩 淡	東海親善協会会長(前会長)	町 孝	九州旅客鉄道株親善役営業部長
佐木 隆三	作家(北九州市立文学館館長)	内藤 正人	西日本旅客鉄道株親善役員福岡支社長
桐尾 真台	作家	秋山 邦雄	西日本鉄道株親善役常務株親善役員
南 こうせつ	音楽家	中島 喜盛	日本航空株親善役員福岡支店長
三輪 嘉六	九州国立博物館長	丸山 芳範	全日本空輸株親善役員福岡支店長
デルカ・レンゾ	日本二十六聖人記念館館長	水嶋 修三	(株)TB九州社長
高津 公保	(株)鳥取県 副会長	吉村 隆次	日本旅行業協会九州支部長
石田 研一	NHK福岡放送局長	徳永 雅典	全国旅行業協会九州協議会議長
田代 俊一郎	西日本新聞社総合プロジェクト室長	大黒 伊勢夫	国土交通省九州運輸局長
橋口 まゆみ	宮崎交通社元バスガイド教官	委員長は田中浩二会長	
九州各県 観光推進等もオブザーバーとして参加(19名)			

### 【後援機関】

九州運輸局、九州観光推進機構、九州旅客鉄道(株)、西日本鉄道(株)、西日本新聞社、NHK福岡放送局、日本航空、全日空、西日本旅客鉄道(株)福岡支社、(社)日本旅行業協会九州支部、(社)全国旅行業協会九州地方協議会